



令和 5 年 度

# 青森県教育施策の概要

青森県教育委員会

# 目 次

第 1	青森県教育施策の方針	1
第 2	青森県教育振興基本計画 政策・施策体系	2
第 3	令和 5 年度 教育予算の概要	3
第 4	令和 5 年度 青森県教育委員会の「施策の柱」	6
第 5	令和 5 年度 施策別主要事業の概要	
1	あおもりの未来をつくる人財の育成	8
2	あおもりの今をつくる人財の育成	15
3	あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興	16
第 6	令和 5 年度 各課（室）別主要事業の概要	
1	教育政策課	19
2	職員福利課	20
3	学校教育課	21
4	教職員課	31
5	学校施設課	33
6	生涯学習課	35
7	スポーツ健康課	40
8	文化財保護課	45
9	高等学校教育改革推進室	49
<b>【参考】</b>		
	令和 5～7 年度 学校における働き方改革プラン	50
	令和 5 年度 学校教育指導の方針と重点	52
	令和 5 年度 社会教育行政の方針と重点	54
	令和 5 年度 体育・健康・スポーツ行政の方針と重点	55
	令和 5 年度 文化財保護行政の方針と重点	56
	令和 5 年度 青森県教育委員会機構図	57



## 第 1 青森県教育施策の方針

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育  
学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育  
次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用  
活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

平成26年1月8日決定

## 第2 青森県教育振興基本計画 政策・施策体系

### 1 あおもりの未来をつくる人財の育成

- (1) 青森を理解し、世界に向かってチャレンジできる人づくり
- (2) 「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成
- (3) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- (4) 子どもが安心して学び、多様な能力を伸ばす教育環境の整備
- (5) 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進
- (6) 学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり

### 2 あおもりの今をつくる人財の育成

- (1) 活力ある持続可能な地域づくりのための人づくり
- (2) 生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大

### 3 あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興

- (1) 歴史・文化の継承と活用
- (2) 健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

#### ※ 記述に関する留意事項

青森県では、「人は青森県にとっての「財（たから）」である」ことを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

### 第3 令和5年度 教育予算の概要

令和5年度当初予算における青森県教育委員会関係予算額は、**1,190億7,230万8千円**となり、**一般会計予算総額の16.1%**を占めることになった。この額を令和4年度当初予算額と比較すると、33億4,920万3千円の減額となり、その伸び率は2.7%の減となる。

また、国の補正予算関連の令和4年度2月補正予算額は、**2億3,030万9千円**となっている。

#### 1 当初予算総括表

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較	
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率
一般会計予算総額	738,400,000	100.0	733,300,000	100.0	5,100,000	0.7
教育費 (教育委員会所管分)	119,072,308	16.1	122,421,511	16.7	△ 3,349,203	△ 2.7

#### 2 目的別予算内訳

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較		
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率	
歳入	使用料及び手数料	2,564,513	2.2	2,704,550	2.2	△ 140,037	△ 5.2
	国庫支出金	21,382,156	17.9	21,913,068	17.9	△ 530,912	△ 2.4
	財産収入	204,795	0.2	211,767	0.2	△ 6,972	△ 3.3
	寄附金	4,755	0.1	1,815	0.1	2,940	162.0
	繰入金	801,286	0.6	779,835	0.6	21,451	2.8
	諸収入	237,654	0.2	353,115	0.3	△ 115,461	△ 32.7
	県債	3,218,000	2.7	2,017,000	1.7	1,201,000	59.5
	一般財源	90,659,149	76.1	94,440,361	77.0	△ 3,781,212	△ 4.0
計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7	
歳出	教育総務費	5,593,513	4.7	5,354,829	4.4	238,684	4.5
	小学校費	39,582,961	33.2	42,686,959	34.8	△ 3,103,998	△ 7.3
	中学校費	25,905,112	21.8	26,933,925	22.0	△ 1,028,813	△ 3.8
	高等学校費	29,301,052	24.6	31,085,591	25.4	△ 1,784,539	△ 5.7
	特別支援学校費	12,569,054	10.6	11,586,369	9.5	982,685	8.5
	社会教育費	3,215,991	2.7	2,401,493	2.0	814,498	33.9
	保健体育費	2,904,625	2.4	2,372,345	1.9	532,280	22.4
	計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7

※令和4年度の予算額及び構成割合は組織改正前及び組織間の事業移管前のものである。

### 3 課(室)別予算内訳

(単位:千円、%)

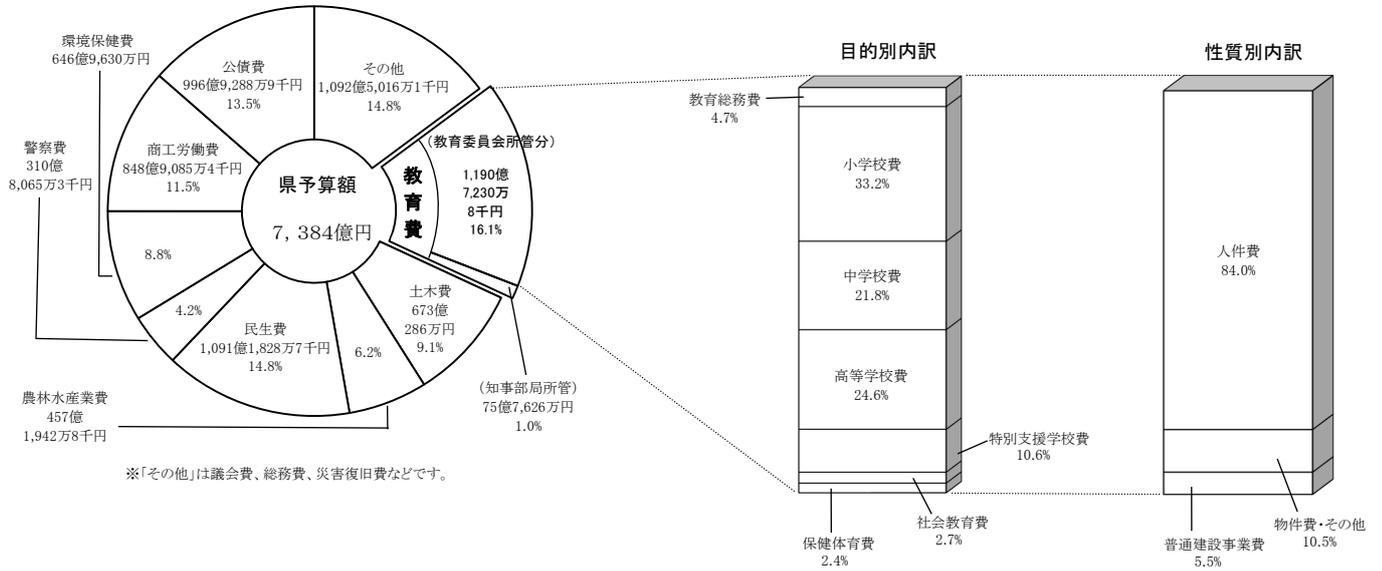
区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較	
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率
教育政策課	89,438	0.1	78,710	0.1	10,728	13.6
職員福利課	98,810,489	82.9	105,224,564	85.9	△ 6,414,075	△ 6.1
学校教育課	1,851,626	1.6	1,720,898	1.4	130,728	7.6
教職員課	83,861	0.1	70,577	0.1	13,284	18.8
学校施設課	12,090,036	10.1	10,535,996	8.6	1,554,040	14.7
生涯学習課	1,532,480	1.3	1,483,564	1.2	48,916	3.3
スポーツ健康課	2,904,625	2.4	2,372,345	1.9	532,280	22.4
文化財保護課	1,683,511	1.4	917,929	0.7	765,582	83.4
高等学校教育改革推進室	26,242	0.1	16,928	0.1	9,314	55.0
計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7

### 4 性質別予算内訳

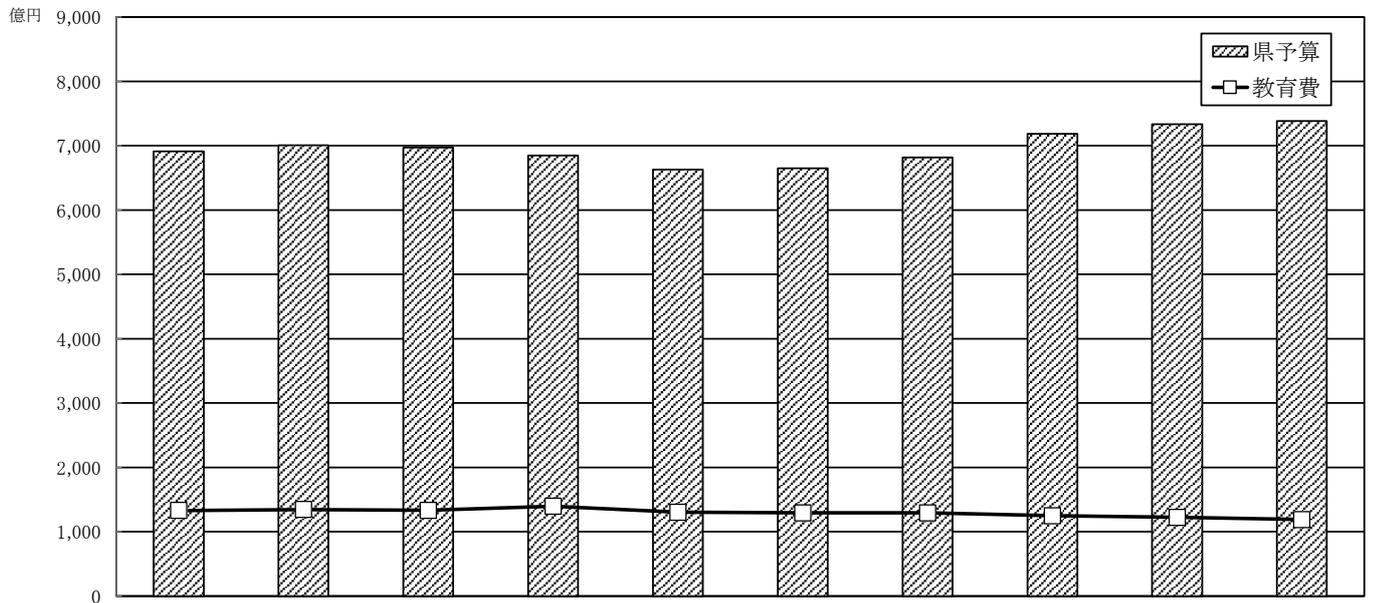
(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較		
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率	
義務的経費	人件費	99,968,294	84.0	106,244,340	86.8	△ 6,276,046	△ 5.9
	扶助費	1,318,751	1.1	1,370,861	1.1	△ 52,110	△ 3.8
	小計	101,287,045	85.1	107,615,201	87.9	△ 6,328,156	△ 5.9
投資的経費 (普通建設事業費)		6,585,297	5.5	4,340,884	3.6	2,244,413	51.7
その他の経費	物件費	7,474,165	6.3	6,646,756	5.4	827,409	12.4
	維持修繕費	792,160	0.7	780,248	0.6	11,912	1.5
	補助費等・貸付金等	2,933,641	2.4	3,038,422	2.5	△ 104,781	△ 3.4
	小計	11,199,966	9.4	10,465,426	8.5	734,540	7.0
計		119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7

# 令和5年度 県予算と教育予算



## 県予算と教育費の推移



(単位: 千円)

区分	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
県予算	691,000,000	700,800,000	697,000,000	684,600,000	663,000,000	665,000,000	681,600,000	718,600,000	733,300,000	738,400,000
教育費	133,054,555	134,652,470	133,491,883	139,595,858	130,332,739	129,331,645	129,226,143	124,872,997	122,421,511	119,072,308
教育費の占める割合	19.3%	19.2%	19.2%	20.4%	19.7%	19.4%	19.0%	17.4%	16.7%	16.1%
教育費のうち人件費	117,621,253	115,580,794	114,428,792	113,525,286	113,417,885	111,375,892	112,096,732	108,352,892	106,244,340	99,968,294

※ 教育費は、知事部局所管分を含まない。

## 第4 令和5年度 青森県教育委員会の「施策の柱」

### 1 確かな学力の向上と社会の変化に応じた学びの推進

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図る。

とりわけ、グローバルな視野や情報活用能力の育成、防災教育の推進など、社会の変化に応じた学びを推進する。

また、幼児期からの教育の質的向上を図るため、幼児教育センターを設置し、関係部局と連携して幼児教育推進体制の構築に取り組む。

**新規**

県立学校におけるICTを活用した授業づくり推進事業

〔高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業  
特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業〕

**継続**

青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業

**継続**

小・中学校外国語教育充実支援事業

**継続**

命を守る！防災教育推進事業

**新規**

幼児教育の質的向上強化事業【総務部・健康福祉部と連携】

### 3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備

少人数学級編制について、中学校2年生まで拡充するとともに、外部人材・外部専門家の配置拡充を行い、教員が子どもに向き合う時間を確保し、きめ細かな指導を行える体制の充実を図るほか、小学校教員の確保対策を強化する。

また、いじめや不登校等、支援が必要な児童生徒への対策を強化するとともに、学校施設等の整備・充実に取り組むなど、安全・安心な教育環境の整備に向けた取組を推進する。

**拡充**

あおもりっ子育てプラン21事業

**継続**

学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業  
(スクールカウンセラー配置・派遣/スクールソーシャルワーカー配置)

**拡充**

外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業

**拡充**

学校における運動部活動・文化部活動推進事業  
(部活動指導員配置)

**継続**

学校等における法務相談体制整備事業  
(スクールロイヤー配置)

**新規**

「あおもりで働こう」小学校教員魅力向上事業

**新規**

多様な教育機会を活用した教育支援推進事業

**継続**

県立学校施設整備事業

## 2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進

子どもたちのふるさとに対する理解を深め、誇りや愛着心を醸成し、地域で活躍する人財の育成や将来の県内定着を見据えた取組を推進する。

また、特別支援学校生徒の社会的・職業的自立の促進に取り組む。

あわせて、学校・家庭・地域との連携を強化し、地域全体で子どもを育む仕組みづくりに取り組む。

**拡充** 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業

**継続** 青商ビジネスチャレンジwith台湾事業

**継続** 特別支援学校技能検定事業

**拡充** 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業

**拡充** 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業

**新規** 地域と学校とのパートナーシップ強化事業

## 4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足の解消に関係部局との連携を強化して取り組むとともに、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりの促進や国民スポーツ大会の本県開催に向けた競技力の向上等を図る。

また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人財育成に取り組むとともに、かけがえのない文化財の保存・活用を図る。

さらに、世界文化遺産となった縄文遺跡群の普遍的価値を次世代に継承するための取組を行う。

### スポーツを通じた健康づくり・競技力の向上

**新規** 県民の未来の健康創造事業【健康福祉部と連携】

**継続** 「スポーツでみんなを元気に」健康力アップ事業

**拡充** 競技力強化事業

### かけがえのない文化財の保存・活用

**新規** 「青森の縄文遺跡群」保存・活用事業

**新規** 「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業

**継続** 「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業

**継続** 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業

**継続** 小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業



## 第5 令和5年度 施策別主要事業の概要

### 1 あおもりの未来をつくる人財の育成

「生活創造社会」の実現に向けて、未来の青森県の基盤となる人財の育成に取り組みます。

子どもたちが、ふるさとあおもりに対する誇りと愛着を持ち、新しい価値を創造する力や国際感覚を身に付け、多様性を認め、人権を尊重し、心身ともに健康で自立した人財として成長するよう、学校・家庭・地域が連携・協働して取り組みます。

#### (1) 青森を理解し、世界に向かってチャレンジできる人づくり

子どもの頃から、身近な大人や地域との関わり、異文化交流などを通して、ふるさとへの理解や愛着を深め、将来、青森から世界に向かってチャレンジできる人財の育成に、学校・家庭・地域が連携して取り組みます。

##### ① 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【継続重点】

83, 404冊(学校教育課)

##### ② 青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【継続重点】

23, 906冊(学校教育課)

幅広い教養や主体的に課題を発見し解決する国際的素養を身に付けた人材を育成するため、国際的な教育プログラムである国際バカロレアの理念に基づく教育プログラムの開発・普及に取り組むとともに、本県の高校生と台湾の高校生の相互交流による主体的で実践的な協働学習を実施する。

##### ③ ドリカム人づくり推進事業

9, 258冊(学校教育課)

##### ④ 小・中学校外国語教育充実支援事業

1, 074冊(学校教育課)

##### ⑤ 済州国際青少年フォーラム派遣事業

972冊(学校教育課)

##### ⑥ 高校生国際交流推進事業

1, 920冊(学校教育課)

##### ⑦ 外国語指導助手設置事業

135, 401冊(学校教育課)

##### ⑧ 英語力を強化する指導改善事業

2, 267冊(学校教育課)

##### ⑨ 青商ビジネスチャレンジwith台湾事業【継続重点】

9, 353冊(学校教育課)

青森商業高等学校と台湾の高校による青森県と台湾での販売実践活動を通じて、県内商業高校との連携及び台湾の高校との連携強化を図るとともに、国内外でビジネスを展開するノウハウを高校段階から学び、ビジネスプロジェクトの協働実践を行う。

##### ⑩ 国際バカロレア認定支援事業【新規】

2, 835冊(学校教育課)

世界に通用する論理的思考や表現力、コミュニケーション能力などを身に付けることができる国際バカロレア（IB）教育を青森南高等学校に導入するため、IB候補校の認定に向けた科目別ワークショップの受講やIBの理念を取り入れた授業・探究活動を行う。

##### ⑪ エネルギーに関する教育支援事業費補助

2, 858冊(学校教育課)

##### ⑫ 少年自然の家運営管理事業

217, 224冊(生涯学習課)

##### ⑬ 小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業【継続重点】

3, 071冊(文化財保護課)

##### ⑭ こども民俗芸能大会

4, 570冊(文化財保護課)

##### ⑮ 運営管理事業（郷土館）

94, 383冊(文化財保護課)

## (2) 「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成

確かな学力の向上に取り組むほか、主権者教育や情報教育などにより、新しい時代に求められる資質・能力の育成に取り組みます。

また、人権を尊重し、他者を思いやる心を育成するとともに、将来にわたって健康に暮らすための知識の習得や意識の醸成、生活習慣の定着に取り組みます。

- |   |  |                 |
|---|--|-----------------|
| ① | あおり教育フォーラム開催事業   | 593冊(教育政策課)     |
| ② | 学習状況調査   | 6,126冊(学校教育課)   |
| ③ | 県立学校におけるICTを活用した授業づくり推進事業【新規重点】  | 13,730冊(学校教育課)  |
|   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業 6,315冊<br/>授業の充実による生徒の資質・能力の育成を図るため、推進校においてICTを効果的に活用した授業改善のための実践研究を行うとともに、ICTの活用推進に向けた教員研修等を実施する。</li><li>・ 特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業 7,415冊<br/>障害種や個々の障害に応じた主体的、対話的で深い学びを推進するため、特別支援学校においてICTを活用した授業実践や研修会を行うとともに、ICTの効果的な活用を検討する協議会を開催する。</li></ul> |                 |
| ④ | 進学力を高める高校支援事業  | 6,883冊(学校教育課)   |
| ⑤ | 小・中学校外国語教育充実支援事業(再掲)   | 1,074冊(学校教育課)   |
| ⑥ | 青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【継続重点】(再掲)  | 23,906冊(学校教育課)  |
| ⑦ | 外国語指導助手設置事業(再掲)  | 135,401冊(学校教育課) |
| ⑧ | 英語力を強化する指導改善事業(再掲)   | 2,267冊(学校教育課)   |
| ⑨ | 済州国際青少年フォーラム派遣事業(再掲)   | 972冊(学校教育課)     |
| ⑩ | 高校生国際交流推進事業(再掲)  | 1,920冊(学校教育課)   |
| ⑪ | 医師を志す高校生支援事業   | 18,599冊(学校教育課)  |
| ⑫ | スーパーサイエンスハイスクール支援事業  | 3,610冊(学校教育課)   |
| ⑬ | 科学の甲子園関係事業   | 647冊(学校教育課)     |
| ⑭ | ドリカム人づくり推進事業(再掲)   | 9,258冊(学校教育課)   |
| ⑮ | 青森県中学校文化連盟支援事業   | 1,700冊(学校教育課)   |
| ⑯ | 青森県高等学校文化連盟支援事業  | 791冊(学校教育課)     |
| ⑰ | 県高等学校総合文化祭   | 2,888冊(学校教育課)   |
| ⑱ | 外部人材活用による教科指導等充実事業   | 21,631冊(教職員課)   |
| ⑲ | 学校図書館活動支援事業  | 6,604冊(教職員課)    |
| ⑳ | 道徳教育地域支援事業   | 1,682冊(学校教育課)   |

- ⑳ **多様な教育機会を活用した教育支援推進事業【新規重点】** **8, 216冊(学校教育課)**  
 小・中学校の不登校児童生徒を支援するため、関係機関等と連携し、学習機会の提供や支援の在り方について検討を進めるとともに、研究指定校に校内教育支援センターを設置し、不登校児童生徒への支援の調査研究等を行う。
- ㉑ **学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業** **155, 883冊(学校教育課)**
- ㉒ **居場所づくり・絆づくり推進事業** **2, 661冊(学校教育課)**
- ㉓ **ソーシャルメディア等監視員配置事業** **2, 935冊(学校教育課)**
- ㉔ **24時間いじめ等電話相談事業** **9, 900冊(学校教育課)**
- ㉕ **青森県いじめ防止対策審議会（人件費）** **177冊(学校教育課)**
- ㉖ **安心できる学校づくり推進事業** **2, 150冊(学校教育課)**
- ㉗ **いじめ防止対策事業** **760冊(学校教育課)**
- ㉘ **いじめ防止キャンペーン推進事業** **7, 441冊(生涯学習課)**
- ㉙ **幼児教育の質的向上強化事業【新規重点・将来対応分】** **11, 677冊(学校教育課)**  
 幼児教育の質的向上を図るため、関係者が連携して幼児教育推進体制の在り方について研究・検討を行うとともに、幼保小連携の推進に向けた「幼保小の架け橋プログラム」の開発・実践等を行う。
- ㉚ **命を守る！防災教育推進事業【継続重点】** **3, 496冊(スポーツ健康課)**  
 児童生徒が自然災害発生時に適切に対応できる資質・能力の向上を図るため、指定校による取組をまとめた防災教育実践事例集を作成・配布するとともに、防災教育推進事業成果発表会や学校防災の中核となる教職員を養成する研修会を実施する。
- ㉛ **定期健康診断費** **88, 788冊(スポーツ健康課)**
- ㉜ **いきいき青森っ子健康づくり事業** **1, 518冊(スポーツ健康課)**
- ㉝ **県民の未来の健康創造事業（教育委員会分）【新規重点・将来対応分】** **2, 559冊(スポーツ健康課)**  
 児童生徒及びその保護者の生活習慣の実態を調査し、肥満傾向児出現率の改善に向けた取組を推進するとともに、児童・保護者の意識の向上を図るため、教員を対象とした体育・食育の楽しさアップ研修会を開催する。
- ㉞ **がん教育総合支援事業** **833冊(スポーツ健康課)**
- ㉟ **学校体育実技講習会** **895冊(スポーツ健康課)**
- ㊱ **体力向上推進事業** **869冊(スポーツ健康課)**
- ㊲ **地域スポーツクラブ活動体制推進事業【新規】** **61, 211冊(スポーツ健康課)**  
 公立中学校における休日の部活動の地域移行を推進するため、指導者の人材バンクの構築を行うとともに、県立中学校において部活動の地域移行に向けた実証を行うほか、市町村が行う地域移行体制の構築を支援する。

### (3) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の自立や社会参加を促進するため、個に応じた適切かつ専門性の高い指導・支援に取り組めます。

- ① **高等学校における通級指導関連経費** **109冊(学校教育課)**

② 訪問教育指導事業	287冊(学校教育課)
③ 特別支援学校就学奨励費	230, 141冊(学校教育課)
④ 特別支援学校技能検定事業	4, 606冊(学校教育課)
⑤ 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	2, 926冊(学校教育課)
⑥ 地区特別支援連携協議会【新規】	400冊(学校教育課)
<p>地域の関係機関（教育・福祉・医療）との連携による特別な支援を必要とする幼児児童生徒の支援に関する情報共有及び特別支援教育に関する専門性の向上を図るため、県内各地区において協議会及び研修会を開催する。</p>	
⑦ 特別支援学校における家庭教育支援事業	707冊(生涯学習課)
⑧ 障害者の生涯学習支援事業	1, 014冊(生涯学習課)
⑨ 特別支援学校教室不足対策事業	392, 911冊(学校施設課)
⑩ 特別支援教育相談事業（総合学校教育センター）	7, 577冊(学校教育課)

#### (4) 子どもが安心して学び、多様な能力を伸ばす教育環境の整備

安全・安心な教育環境の確保や、教員の実践的な指導力の向上、ICTの効果的活用など、時代や社会環境の変化に対応した、質の高い教育を受けられる持続可能な環境づくりに取り組めます。

① 老朽改築（校舎等建築）事業	1, 653, 020冊(学校施設課)
<p>学校施設の安全・安心の確保及び機能向上等を図るため、八戸工業高校の校舎の改築工事を行うとともに、五所川原高校、八戸東高校、下北地区統合校を開設するむつ工業高校及び県立盲学校を併設する青森聾学校（寄宿舎を含む）の校舎並びに五所川原農林高校の寄宿舎の改築設計を行う。</p>	
② 県立学校長寿命化・重点改良事業	545, 642冊(学校施設課)
<p>黒石養護学校を旧黒石商業高校の敷地に移転するため、旧黒石商業高校の校舎等の改修設計・工事を行う。</p>	
③ 県立学校大規模改修	1, 858, 655冊(学校施設課) (うち2月補正分210, 309冊)
④ 特別支援学校教室不足対策事業（再掲）	392, 911冊(学校施設課)
<p>教室不足の解消を図るため、七戸養護学校及びむつ養護学校の校舎の増築設計を行う。</p>	
⑤ 県立学校AED整備費	4, 314冊(スポーツ健康課)
⑥ 被災児童生徒就学支援等事業	950冊(学校教育課・スポーツ健康課)
⑦ 高等学校定時制・通信制教科書学習書給与事業	2, 110冊(学校教育課)
⑧ 特別支援学校就学奨励費	230, 141冊(学校教育課)
⑨ 特別支援教育就学奨励費システム保守委託経費	935冊(学校教育課)
⑩ 高校奨学金貸与事業費補助	20, 351冊(教職員課)
⑪ 高等学校定時制・通信制課程修学奨励金貸与事業	5, 328冊(教職員課)
⑫ 県立高等学校等就学支援金	2, 051, 333冊(学校施設課)
<p>家庭における教育費負担を軽減するため、県立高校等の一定の所得未満の世帯の生徒に対し、授業料に充てるための支援金を支給する。</p>	

⑬ 奨学のための給付金事業

536,788 冊(学校施設課)

低所得世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、県立高校等の生徒の保護者等に対し、奨学のための給付金を給付する。(第1子の高校生等がいる世帯の給付額増額)

【給付額(年額)】

対象者区分		令和4年度	令和5年度
生活保護受給世帯	全日制・定時制・通信制	32,300円	32,300円
	専攻科	50,500円	50,500円
道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯	全日制・定時制(第1子)	114,100円	117,100円
	全日制・定時制(第2子以降)	143,700円	143,700円
	通信制・専攻科	50,500円	50,500円

⑭ 学校給食衛生管理事業

7,668 冊(スポーツ健康課)

⑮ 県立学校給食設備整備事業

3,375 冊(スポーツ健康課)

⑯ 県立学校給食委託事業

21,650 冊(スポーツ健康課)

⑰ 「あおもりで働こう」小学校教員魅力向上事業【新規重点】

11,787 冊(教職員課)

小学校教員の志望者の増加を図るため、小学校教員の魅力を伝える動画を作成し、大学生や高校生に向けてPR活動等を実施するとともに、臨時講師採用に向けた研修会等を開催する。

⑱ あおもりっ子育てプラン21事業

1,119,265 冊(教職員課)

きめ細かな学習指導や生活指導を実施するため、これまで小学校全学年及び中学校1年生を対象に実施してきた33人学級編制等を中学校2年生まで拡充し実施する。また、指導の充実を図るため、小学校全学年を対象に、引き続き複式学級の一定の児童数以上で非常勤講師を配置する。

対象	教員数	当初予算額
小学校	143(75)人	588,897千円
中学校	102人	530,368千円
合計	245(75)人	1,119,265千円

※小学校の( )は非常勤講師で内数。

⑲ 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業

164,301 冊(学校教育課・教職員課)

教職員の業務の負担軽減を図るため、小・中学校、高等学校及び特別支援学校で教職員の事務的補助を行うスクールサポートスタッフの配置を拡充する。拡充に当たっては、障害者を雇用することとし、県教育委員会における障害者雇用を推進する。

R4 小・中学校27校、高等学校22校、特別支援学校20校

→ R5 小・中学校42校、高等学校26校、特別支援学校20校

⑳ 学校等における法務相談体制整備事業

1,988 冊(教職員課)

深刻な児童生徒間トラブルや外部からの過剰な要求等に対応する教職員の負担軽減を図るとともに、児童生徒にとって最適な教育環境を維持するため、県弁護士会と連携してスクールロイヤーを配置し、学校からの法務相談に対応できる体制を整備する。

㉑ スクールライフサポーター配置事業

4,376 冊(教職員課)

㉒ 地域スポーツクラブ活動体制推進事業【新規】(再掲)

61,211 冊(スポーツ健康課)

㉓	学校における運動部活動推進事業	11,610冊(スポーツ健康課)
	〔適切な運動部活動の実現及び教職員の運動部活動指導の負担軽減を図るため、市町村立中学校及び県立学校に運動部活動指導員を配置する。〕	
㉔	学校における文化部活動推進事業	3,364冊(学校教育課)
	〔適切な文化部活動の実現及び教職員の文化部活動指導の負担軽減を図るため、市町村立中学校及び県立学校に文化部活動指導員を配置する。〕	
㉕	教員等資質向上推進協議会	252冊(学校教育課)
㉖	初任者研修	14,500冊(学校教育課)
㉗	教職員研修関係経費	2,442冊(学校教育課)
㉘	幼稚園新規採用教員研修	507冊(学校教育課)
㉙	AOMORI多文化共生推進事業	4,000冊(学校教育課)
㉚	研修講座(総合学校教育センター)	11,338冊(学校教育課)
㉛	長寿命化推進事業(総合学校教育センター)	140,340冊(学校教育課)
㉜	県立学校におけるICTを活用した授業づくり推進事業【新規重点】(再掲)	13,730冊(学校教育課)
㉝	県立学校情報通信技術支援事業	12,382冊(学校教育課)
㉞	授業目的公衆送信補償金	10,394冊(学校教育課)
㉟	学校安全指導者研修	302冊(スポーツ健康課)
㊱	学校安全総合支援事業	3,051冊(スポーツ健康課)
㊲	学校安全対策費	2,250冊(スポーツ健康課)
㊳	養護教諭研修(新規採用研修、経験者研修)	3,819冊(スポーツ健康課)
㊴	栄養教諭・学校栄養職員研修(新規採用研修、経験者研修)	1,162冊(スポーツ健康課)
㊵	県立高等学校教育改革推進事業	26,242冊(高等学校教育改革推進室)
	〔県立高等学校教育改革推進計画の着実な推進のため、県立高等学校の特色等を発信するホームページの開設や全国からの生徒募集等を行うとともに、令和10年度以降の実施計画の策定に向けて検討会議や高等学校教育に関する意識調査を実施する。〕	

#### (5) 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

小・中・高等学校から大学等そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育を社会全体で推進し、社会的・職業的自立のために必要な能力・態度を育成します。

地域や大学・企業等と連携し、子どもや若者の地域に対する貢献意欲の向上や創造力の育成を図るなど、県内定着促進も意識したキャリア形成支援に取り組みます。

①	高校生の就職総合支援プロジェクト事業	20,080冊(学校教育課)
②	医師を志す高校生支援事業(再掲)	18,599冊(学校教育課)
③	青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人材育成事業【継続重点】(再掲)	23,906冊(学校教育課)
④	特別支援学校技能検定事業(再掲)	4,606冊(学校教育課)

⑤ 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【継続重点】（再掲）

83,404冊(学校教育課)

高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人材育成に向けて、全ての県立高校において、地域資源や人材を活用して、高校所在地域及び自身の居住地域等について理解を深める学習「あおもり創造学」に取り組むほか、県内就職に関する情報提供や学校と企業の相互理解を促進するための就職支援員を配置する。

- ⑥ 仕事力養成推進事業 2,501冊(学校教育課)
- ⑦ 青森で生きる未来人材育成事業（総合社会教育センター） 1,000冊(生涯学習課)
- ⑧ 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業（総合社会教育センター） 995冊(生涯学習課)
- ⑨ 高校生スキルアッププログラム推進事業（総合社会教育センター） 190冊(生涯学習課)
- ⑩ 元気青森人を創造するeラーニング推進事業（総合社会教育センター） 987冊(生涯学習課)

(6) 学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり

学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体で子どもを育む仕組みづくりを推進します。

- ① 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 890冊(教職員課)
  - ② 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業（再掲） 2,926冊(学校教育課)
  - ③ 地域と学校とのパートナーシップ強化事業【新規重点】 5,619冊(生涯学習課)
- 地域学校協働活動の更なる推進を図るため、学校関係者と地域の企業等との情報交換会等や市町村向けの研修会を実施するとともに、県立学校に地域学校協働活動推進員を配置し、活動の効果検証を行う。
- ④ 地域学校協働活動推進事業 2,539冊(生涯学習課)
  - ⑤ 学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助 38,237冊(生涯学習課)
  - ⑥ 子どもの読書活動推進事業 3,426冊(生涯学習課)
  - ⑦ あおもり家庭教育支援総合事業 2,566冊(生涯学習課)
  - ⑧ 特別支援学校における家庭教育支援事業（再掲） 707冊(生涯学習課)
  - ⑨ 障害者の生涯学習支援事業（再掲） 1,014冊(生涯学習課)
  - ⑩ 若者の社会参加促進事業 1,018冊(生涯学習課)
  - ⑪ 地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業（総合社会教育センター） 801冊(生涯学習課)
  - ⑫ 家庭教育支援動画制作普及事業（総合社会教育センター） 3,866冊(生涯学習課)
  - ⑬ あおもり家庭教育力向上事業（総合社会教育センター） 1,025冊(生涯学習課)

## 2 あおもりの今をつくる人財の育成

地域の課題に主体的に取り組む意欲ある人財の育成、地域における持続可能な人財育成の仕組みづくり、国内外の人財の交流による地域の活性化に取り組みます。

移住の促進など多様な人財との交流によるネットワークを構築し、地域の担い手の確保・育成につなげます。

若者や女性、高齢者の活躍促進、県民が生きがいを持って生活できる環境づくりに取り組みます。

### (1) 活力ある持続可能な地域づくりのための人づくり

地域の活力が将来にわたって持続するよう、「生業」づくりや地域づくりに取り組むリーダーの育成を行うとともに、次の世代を担う人財の育成に向けた仕組みづくりに取り組みます。

国内外の人財の交流などによる地域の活性化や、多様な働き方を可能とする環境づくりに取り組みます。

- ① 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1, 649冊(生涯学習課)
- ② パワフルAOMORI!創造塾開催事業(総合社会教育センター) 1, 196冊(生涯学習課)
- ③ 地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業(総合社会教育センター)(再掲)  
801冊(生涯学習課)

### (2) 生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大

県民の生涯を通じた学びの機会の提供や、その学習成果を生かした地域活動への参加推進、高齢者の活躍促進に取り組みます。

- ① 夜間中学需要等調査事業【新規】 993冊(教職員課)  
〔「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(教育機会確保法)等によって夜間中学における就学の機会等の措置を講ずるものとされていることを踏まえ、夜間中学に対するニーズ調査を実施し、本県における在り方を検討する。〕
- ② 特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 802冊(生涯学習課)
- ③ 生涯学習推進基盤整備事業 1, 048冊(生涯学習課)
- ④ 若者の社会参加促進事業 1, 018冊(生涯学習課)
- ⑤ 子どもの読書活動推進事業(再掲) 3, 426冊(生涯学習課)
- ⑥ 資料整備事業(県立図書館) 65, 475冊(生涯学習課)
- ⑦ 読書バリアフリー推進事業(県立図書館) 1, 612冊(生涯学習課)
- ⑧ 運営管理事業(総合社会教育センター) 132, 490冊(生涯学習課)
- ⑨ 施設設備改修工事(総合社会教育センター) 83, 652冊(生涯学習課)
- ⑩ 元気青森人を創造する。ラーニング推進事業(総合社会教育センター)(再掲)  
987冊(生涯学習課)
- ⑪ 学習情報の収集・提供事業(総合社会教育センター) 7, 343冊(生涯学習課)

### 3 あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興

本県の歴史・文化を継承していくため、その適切な保存と積極的な活用に取り組みます。

文化芸術に親しむ環境づくりと人財の育成を進めるほか、文化芸術資源を活用した地域づくりに取り組みます。

スポーツを通じた県民の健康増進や、スポーツを活用した交流人口の拡大などによるにぎわいの創出、第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据えた競技力の向上などに取り組みます。

#### (1) 歴史・文化の継承と活用

縄文遺跡群の世界文化遺産登録をめざす取組を推進するとともに、一体的な保全と活用に取り組みます。

郷土の歴史、民俗、産業、自然等に関する資料や文化財などの適切な保存と活用を促進するとともに、伝統文化の鑑賞・体験機会の充実に取り組みます。

##### ① 「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業【新規重点】（三内丸山遺跡センター）

30, 537冊(文化財保護課)

世界文化遺産として認められた三内丸山遺跡の価値を未来に継承し、伝えるため、地域住民や幅広い世代が参画し、保存・活用の意識を高めるとともに、国内・国外観光客への積極的なPRを行う。

##### ② 「青森の縄文遺跡群」保存・活用事業【新規重点・将来対応分】（三内丸山遺跡センター）

125, 649冊(文化財保護課)

「青森の縄文遺跡群」の適切な保存・活用を推進していくため、関係自治体や民間団体等と連携し、縄文遺跡群の価値や魅力が広く国内外で理解され、世界に誇り、世界からも選ばれる場所となるよう普及啓発、認知度向上に向けた県外プロモーション、関係市町の遺跡施設等の整備に対する支援等の受入態勢の充実に取り組む。

##### ③ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業【継続重点】（三内丸山遺跡センター）

41, 689冊(文化財保護課)

「北海道・北東北の縄文遺跡群」を次の世代に守り伝えていくため、関係道県及び市町と共同で設置する包括的保存管理体制の下、適切な保存と活用を推進するほか、登録直後の関心の高さを活かして国内外へ縄文遺跡群の価値や魅力を発信する。

##### ④ 「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設関連事業（三内丸山遺跡センター）

456, 011冊(文化財保護課)

県内に所在する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の8つの構成資産について、世界文化遺産としての価値の伝達や遺跡への来訪・周遊を促進する情報発信のための拠点施設を整備する。

##### ⑤ 特別展開催事業（三内丸山遺跡センター）

10, 488冊(文化財保護課)

- ⑥ **三内丸山遺跡保存・活用関連事業（三内丸山遺跡センター）** 125,015冊(文化財保護課)
- 三内丸山遺跡の適切な保存と積極的な活用に向けた整備等を行う。
- ・ 三内丸山遺跡史跡整備事業 81,140冊
  - 子どもの墓覆屋設置工事、西盛土付近視点場設置工事、園路舗装改修工事等
  - ・ 三内丸山遺跡長寿命化事業 43,875冊
  - 縄文時遊館屋上柵設置等改修工事、縄文シアター映像・音響機器更新
- ⑦ **文化財修理費補助** 6,478冊(文化財保護課)
- ⑧ **無形民俗文化財等保護費補助** 482冊(文化財保護課)
- ⑨ **記念物環境整備費補助** 3,773冊(文化財保護課)
- ⑩ **指定文化財管理費補助** 1,803冊(文化財保護課)
- ⑪ **埋蔵文化財緊急発掘調査費補助** 1,647冊(文化財保護課)
- ⑫ **こども民俗芸能大会（再掲）** 4,570冊(文化財保護課)
- ⑬ **北海道・東北ブロック民俗芸能大会** 779冊(文化財保護課)
- ⑭ **文化施設感染症防止等対策強化事業** 3,941冊(文化財保護課)
- ⑮ **「地元の縄文」再発見プロジェクト事業【継続重点】** 8,809冊(文化財保護課)
- 世界文化遺産の構成資産以外も含めた地元の縄文遺物の価値や魅力を県民に伝達し、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、市町村と縄文遺物の活用に向けた連絡会議、授業で活用する縄文遺物セットの製作、地元の縄文を紹介する講演会等の開催、県内各地で配布する「あおり縄文カード」の作成等を行う。
- ⑯ **小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業【継続重点】（再掲）** 3,071冊(文化財保護課)
- 縄文遺跡をはじめとする県内の文化財の保存・活用に関わる人材の育成を図るため、小学生と地域との連携による地域の文化財の学習・体験活動等を実施する。
- ⑰ **長寿命化改修関連事業（郷土館）** 66,941冊(文化財保護課)
- 郷土館の長寿命化改修に係る設計を行うとともに、資料等の館外退避に係る準備を行う。
- ⑱ **運営管理事業（郷土館）（再掲）** 94,383冊(文化財保護課)

## (2) 健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

県民が年間を通じてスポーツに取り組める環境を充実させるほか、全国大会などで活躍できる選手や指導者を育成し、県民の健康づくりやスポーツによる地域活性化を進めます。

- ① **全国スポーツ推進委員研究協議会開催費負担金【新規】** 2,033冊(スポーツ健康課)
- 令和5年11月に青森市で開催される第64回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催に要する経費を負担する。
- ② **学校体育実技講習会** 895冊(スポーツ健康課)
- ③ **体力向上推進事業（再掲）** 869冊(スポーツ健康課)
- ④ **全国大会派遣費補助（高等学校・中学校）** 13,220冊(スポーツ健康課)
- ⑤ **学校における運動部活動推進事業（再掲）** 11,610冊(スポーツ健康課)
- ⑥ **地域スポーツクラブ活動体制推進事業（再掲）** 61,211冊(スポーツ健康課)
- ⑦ **各種体育・スポーツ大会開催費助成** 4,900冊(スポーツ健康課)

⑧ 県有体育施設運営管理事業	1, 401, 433冊(スポーツ健康課)
⑨ 青森県スポーツ協会補助	29, 925冊(スポーツ健康課)
⑩ スポーツ振興事業職員費	18, 000冊(スポーツ健康課)
⑪ 青森県民駅伝競走大会開催費	16, 811冊(スポーツ健康課)
⑫ スポーツ科学センター運営管理費	60, 849冊(スポーツ健康課)
⑬ 国体・東北総体派遣事業	96, 243冊(スポーツ健康課)
⑭ スポーツ・レクリエーション振興事業	7, 718冊(スポーツ健康課)
⑮ 広域スポーツセンター運営事業	3, 792冊(スポーツ健康課)
⑯ 「スポーツでみんなを元気に」健康力アップ事業費【継続重点】	4, 229冊(スポーツ健康課)
スポーツを通じた健康づくりを推進するため、地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブと連携し、地域の実情に応じた運動・スポーツ活動に取り組む。	
⑰ 競技力強化事業	415, 535冊(スポーツ健康課)
国民スポーツ大会の本県開催に向けた総合的・戦略的な選手強化を行う。	
・ 競技力向上対策本部運営費	9, 492冊
・ 競技力向上事業	110, 106冊
・ 競技力向上対策特別事業	247, 092冊
競技力向上を図るため、競技団体へのアドバイザー派遣、強化拠点校や有力選手等への活動支援、女性アスリートの競技継続支援、指導者の育成及び公認資格の取得支援、トップレベルコーチの招へい、競技団体間の情報共有の強化、医・科学スタッフによるサポートの強化、特殊競技用具整備、雇用奨励金等による選手・指導者の雇用環境充実支援を行う。	
・ スポーツ科学チームサポート事業	4, 983冊
スポーツ科学専門員による科学的分析に基づくトレーニングのサポートを行う。	
・ スポーツ科学センター環境充実事業	43, 862冊
スポーツ科学チームサポート事業の実施に向け、スポーツ科学センターの組織の充実及び機器の整備等を行う。	

## 第6 令和5年度 各課（室）別主要事業の概要

### 1 教育政策課

事業名	当初予算額	事業の概要
1 教育調査統計の実施	千円 390	<p>国の統計調査及び本県教育の振興を図るための県単独の調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の統計調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校基本調査」に係る審査・集計</li> <li>・地方教育費調査</li> </ul> </li> <li>・県単独の調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校等卒業者の進路状況調査</li> <li>・高等学校等卒業者の進路状況調査</li> <li>・中学校等卒業予定者の進路志望状況調査</li> </ul> </li> </ul>
2 教育施策の企画調整	968	<p>新たな教育課題への迅速かつ的確な対応を図るため、教育施策の企画調整等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策企画調整（教育施策立案のため、教育現場の現状と課題を把握し、新たな教育課題等を検討する。）</li> <li>・教育施策の概要の作成</li> <li>・市町村教育委員会教育長会議、県立学校長会議等の開催</li> </ul>
3 教育委員会の事務の点検・評価の実施	104	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成する。</p>
4 広報・広聴活動の推進	8,836	<p>教育施策等について正しい理解と協力が得られるよう、効果的な広報・広聴活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育広報あおもりけん（年4回発行）</li> <li>・青森県の教育（年1回発行）</li> <li>・グラフでみる青森県の教育（年1回発行）</li> <li>・あおもり教育フォーラム（年1回開催）</li> </ul>
5 教育行政情報システムの推進	73,725	<p>教育行政における情報処理と事務処理の合理化・効率化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育行政情報システムの開発・運用・保守</li> <li>・情報システムの運用・保守</li> <li>・全庁LAN運用</li> </ul>

## 2 職員福利課

事業名	当初予算額	事業の概要
1 教職員の健康管理の充実	千円 10,667	<p>教職員のがんの早期発見と早期治療に役立てるため、がん検診を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診      30歳以上の女性教職員      1,400人</li> <li>・子宮がん検診    女性教職員                      1,800人</li> <li>・大腸がん検診    30歳以上の教職員              250人</li> </ul>

### 3 学校教育課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
1 授業の充実	千円 57,949	
(1) 学習状況調査	6,126	<p>本県の児童生徒の学力向上に資するよう学習指導の改善を図り、学力の維持向上に取り組むため、県内公立小・中学校の児童生徒を対象に学習状況調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象学年 小学校5学年全員 中学校2学年全員</li> <li>・実施教科等 小学校 国語・社会・算数・理科、質問紙 中学校 国語・社会・数学・理科・英語、質問紙</li> </ul>
(2) 小・中学校外国語教育充実支援事業	1,074	小・中学校における外国語教育の充実及び本県外国語担当教員等の英語力向上を図るため、研究協議会及び小・中学校外国語教育充実支援訪問等を実施する。
(3) AOMORI 多文化共生推進事業	4,000	外国につながりがある子どもの日本語指導体制の確保・充実を図るため、県内関係機関と連携し、日本語支援プログラムを実施する。
(4) スーパーサイエンスハイスクール支援事業	3,610	科学技術や理科・数学に関する教育を重点的に行い、高等学校におけるカリキュラム開発等を行うスーパーサイエンスハイスクール指定校について、資料整理や報告原稿の入力作業等の事務負担軽減のため、事務支援員を配置する。
(5) エネルギーに関する教育支援事業費補助	2,858	児童生徒がエネルギーに関する理解を深め、自ら考え判断する力を身に付けることをねらいとした体験的な学習を推進するための市町村及び県立学校が行う教育活動等に要する経費に対し助成する。
(6) 学校図書館活用推進事業	333	学校図書館の現状認識と活用推進を図るため、学校図書館担当者（司書教諭、学校司書、その他担当者）を対象として講義・演習及び情報交換等を実施する。
(7) 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業（特別支援学校）	37,341	<p>教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員の事務的補助を行うスクールサポートスタッフを配置する。配置に当たっては、障害者を雇用することとし、県教育委員会における障害者雇用を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 特別支援学校20校</li> </ul>

## 学校教育課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(8) 高等学校定時制・通信制教科書学習書給与事業	2,110	勤労青少年の高等学校定時制課程又は通信制課程への就学を促進し、教育の機会均等を保障することを目的として、同課程に在学する有職生徒の教材費負担軽減措置として、教科書及び学習書を給与する。
(9) 被災児童生徒就学支援等事業	497	東日本大震災による被災を起因とした経済的理由により就学困難な児童生徒に対する就学支援等の事業を行う市町村等に対し、必要な経費を補助する。
2 道徳教育の充実	1,894	
(1) 道徳教育研究協議会	212	小・中学校の道徳教育の充実を図るため、研究協議を行う。
(2) 道徳教育地域支援事業	1,682	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上と充実を図るため、学校・地域の実情に応じて道徳教育に関する多様な取組を実施し、成果を普及する。
3 特別活動の充実	18,648	
(1) ドリカム人づくり推進事業	9,258	児童生徒の向上心や積極的に学ぶ意欲を育むため、児童生徒が主体となり企画・活動を行う特色ある学校づくり事業を実施する。 ・対象校 県立学校18校程度
(2) 青森県中学校文化連盟支援事業	1,700	中学校における文化活動を支援するため、県中学校総合文化祭の開催経費に対し助成する。
(3) 青森県高等学校文化連盟支援事業	791	高等学校における文化活動を支援するため、県高等学校文化連盟が行う、全国・東北大会への生徒派遣費の一部を補助する。
(4) 県高等学校総合文化祭	2,888	高等学校における文化活動を支援するため、県高等学校総合文化祭の開催経費の一部を補助する。
(5) 学校における文化部活動推進事業	3,364	適切な文化部活動の実現及び教職員の文化部活動指導の負担軽減を図るため、市町村立中学校及び県立学校に文化部活動指導員を配置する。

### 学校教育課（その3）

事業名	当初予算額	事業の概要
(6) 科学の甲子園関係 事業費	千円 647	高等学校と中学校の生徒が、科学に関する知識・技術等を競い合う「科学の甲子園」及び「科学の甲子園ジュニア」の全国大会への本県代表校を選抜するため、青森県大会をそれぞれ開催する。
4 生徒指導の充実	196,921	
(1) 多様な教育機会を 活用した教育支援推 進事業【新規重点】	8,216	小・中学校の不登校児童生徒を支援するため、関係機関と連携し、学習機会の提供や支援の在り方について検討を進めるとともに、研究指定校に校内教育支援センターを設置し、不登校児童生徒への支援の調査研究等を行う。
(2) 学校の教育相談体 制充実を支援する外 部専門家活用事業	155,883	児童生徒のいじめ、不登校や子どもの貧困問題等の諸課題への対応に係る学校の教育相談体制を支援し解決を図るため、小・中・高等学校等へ心理分野に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラー及び教育・福祉分野に関して専門的知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。 ・スクールカウンセラー 全小・中学校及び高等学校7校 ・スクールソーシャルワーカー 全小・中学校及び高等学校6校
(3) 居場所づくり・絆 づくり推進事業	2,661	不登校の未然防止等のため、安心して学べる環境づくりに向けた調査研究や、医療・心理・福祉等の関係機関や民間団体等による協議会を実施するとともに、市町村における支援体制の整備促進に向けたコーディネーターを配置する。
(4) 24時間いじめ等 電話相談事業	9,900	いじめ・不登校などの様々な課題を抱える児童生徒・保護者を支援するため、夜間・休日を含む24時間対応可能な相談体制を整備するとともに、生徒指導担当者による会議を開催する。
(5) 安心できる学校づ くり推進事業	2,150	いじめを早期に発見し、事案に対処するため、連絡協議会及び教職員向けの研修会を開催するとともに、県立学校における危機的事態発生時に派遣する「こころの緊急支援活動チーム」を設置する。
(6) ソーシャルメディ ア等監視員配置事業	2,935	関係機関等と連携してSNSなどインターネット上のいじめ等に関する事案を早期発見するため、ソーシャルメディア等監視員を配置する。

## 学校教育課（その4）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(7) いじめ防止対策事業	760	いじめ防止等のための対策を実効的に行うため、県立学校に外部専門員や学校関係者による組織を設置する。
(8) 青森県いじめ防止対策審議会	177	いじめ防止等のための対策を審議するとともに、重大事態に関する調査を行うため、専門的知識及び経験を有する委員による審議会を開催する。
(9) 小・中学校指導関係経費	1,397	小・中学校における指導の充実や児童生徒の問題行動の防止等に向けた協力体制の強化を図るため、関係者による情報交換・研究協議を行うとともに、日本語指導が必要な児童生徒担当教員等連絡協議会を開催する。
(10) 高等学校指導関係経費	1,885	高等学校における指導の充実を図るため、関係者による情報交換・研究協議や指導主事等による学校訪問等を行う。
(11) 適応指導	10,080	不登校児童生徒の自立心を育み学校へ復帰できるよう適応指導を行う。（総合学校教育センター） ・対象 小・中・県立学校児童生徒
(12) いじめ・不登校対策、支援教育研修講座	610	学級経営の指導向上を図るため、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動等についての理解、指導・援助の仕方並びに通常の学級及び特別支援学級等における特別支援教育指導法の研修を行う。（総合学校教育センター） ・対象 小・中・県立学校教員
(13) 児童生徒理解、グループアプローチ、アセスメント研修講座	267	学校における教育相談活動を効果的に実践する指導力の向上を図るため、児童生徒理解の客観的方法としての心理検査の理論、技法等について研修を行う。（総合学校教育センター） ・対象 小・中・県立学校教員
5 キャリア教育の推進	132,684	
(1) 医師を志す高校生支援事業	18,599	医学部医学科への入学者の増加を図るため、県内3つの拠点校が中心となり、医学科進学を目指す高校生の実力養成と教員の指導力向上等を図るための学習プログラム等を実施する。 ・対象 高校1・2・3年生

## 学校教育課（その5）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(2) 進学力を高める高校支援事業	6,883	大学進学率の更なる向上を目指し、高校生の学力向上と教員の指導力向上等を図るため、各学校における特色ある取組を実施する。
(3) 県立学校就職促進関連事業	1,217	生徒の就職促進に向けた体制整備に資する取組を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校就職促進連絡会議の開催            経済団体、保護者、行政及び教育関係者が一堂に会し、高校生の就職問題について共通理解を図るとともに、求人確保の方策等について協議を行う。</li> <li>・特別支援学校職場実習の促進            特別支援学校職場実習における事業所等との事前打ち合わせや巡回指導等を行う。</li> </ul>
(4) 高校生の就職総合支援プロジェクト事業	20,080	高校生の就職支援を強力に推進するため、生徒の就職に有利となる資格取得に向けた研修等を実施するとともに、生徒の職業・企業理解を図るための企業訪問を実施する。
(5) 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【継続重点】	83,404	高校生の県内定着促進や、持続可能な青森県を創造できる人材育成に向けて、全ての県立高校において、地域資源や人材を活用して、高校所在地域及び自身の居住地等について理解を深める学習「あおもり創造学」に取り組むほか、県内就職に関する情報提供や学校と企業の相互理解を促進するための就職支援員を配置する。
(6) 仕事力養成推進事業	2,501	高校生が社会人・職業人として自立していくための仕事力を養成するため、体験活動（インターンシップ等）と演習（ビジネスマナー等）を組み立てた就職指導プログラムを高校3年間を通して系統的に実施する。
6 特別支援教育の充実	388,555	
(1) 地区特別支援連携協議会【新規】	400	地域の関係機関（教育・福祉・医療）との連携による特別な支援を必要とする幼児児童生徒の支援に関する情報共有及び特別支援教育に関する専門性の向上を図るため、県内各地区において協議会及び研修会を開催する。

## 学校教育課（その6）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(2) 特別支援学校技能検定事業	4,606	特別支援学校高等部生徒の社会的・職業的自立を促進するため、青森県版「特別支援学校技能検定」の充実を図るとともに、「青森県特別支援学校技能検定・発表会」を実施する。
(3) 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業	2,926	特別支援学校に在籍する幼児、児童及び生徒の自立と社会参加に向け、家庭や地域社会の教育力を活用した教育活動を展開していくため、全20校にコミュニティ・スクールを導入する。
(4) 特別支援学校就学奨励事業	231,780	
① 特別支援教育推進事業	417	障害児の就学を円滑に推進するため、各教育事務所管内ごとに保護者等を対象とする就学相談を行うとともに、県教育支援委員会及び就学事務研究協議会を開催する。
② 訪問教育指導事業	287	特別支援学校に在籍し、障害のため通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して、教員を派遣して教育を行う。
③ 特別支援学校就学奨励費	230,141	特別支援教育の普及奨励を図るため、特別支援学校の幼児、児童及び生徒に対し、就学に必要な学用品費等を助成する。
④ 特別支援教育就学奨励費システム保守委託経費	935	特別支援学校において、就学奨励費に係る事務の効率化を図るシステムの保守委託を行う。
(6) 特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業	140,205	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、スクールバスに乗車する児童生徒の少人数化を図る取組として、スクールバスの増台を行う。
(7) 特別支援教育指導関係経費	1,061	特別支援学校における指導の充実を図るため、関係者による情報交換・研究協議を行うとともに、指導主事等による学校訪問等を行う。
(8) 特別支援教育相談事業	7,577	障害児や児童生徒に関わる諸問題を解決するため、情報の普及・啓発や特別支援教育に係る教育相談を行う。 (総合学校教育センター)

## 学校教育課（その7）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
7 国際化に対応する教育の推進	176,654	
(1) 青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人材育成事業【継続重点】	23,906	幅広い教養や主体的に課題を発見し解決する国際的素養を身に付けた人材を育成するため、国際的な教育プログラムである国際バカロレアの理念に基づく教育プログラムの開発・普及に取り組むとともに、本県の高校生と台湾の高校生の相互交流による主体的で実践的な協働学習を実施する。
(2) 外国語指導助手設置事業	135,401	生徒の語学力の向上を図るとともに、併せて外国語担当教員の指導力の向上を図るため、語学指導等を行う外国青年を招致する。 ・招致人員 28人 ・配置先 県立高校、学校教育課、総合学校教育センター
(3) 济州国際青少年フォーラム派遣事業	972	国際的視野に立って活躍できる人材を育成するために、本県と姉妹提携協定を締結した大韓民国济州特別自治道で開催される「济州国際青少年フォーラム」に高校生・教員を派遣し、相互理解及び交流を促進する。
(4) 英語力を強化する指導改善事業	2,267	高等学校学習指導要領「外国語」を着実に実施するため、英語教員の指導力改善を図るとともに、生徒の英語使用機会の大幅な拡大や英語学習に対するモチベーションの向上を図る等の取組を支援する。
(5) 高校生国際交流推進事業	1,920	本県の高校生等の異文化理解を深め、諸外国との相互理解等の推進を図るため、留学の促進と留学機運の醸成に取り組む。
(6) 青商ビジネスチャレンジ with 台湾事業【継続重点】	9,353	青森商業高校と台湾の高校による青森県と台湾での販売実践活動を通じて、県内商業高校との連携及び台湾の高校との連携強化を図るとともに、国内外でビジネスを展開するノウハウを高校段階から学び、ビジネスプロジェクトの協働実践を行う。
(7) 国際バカロレア認定支援事業【新規】	2,835	世界に通用する論理的思考や表現力、コミュニケーション能力などを身に付けることができる国際バカロレア（IB）教育を青森南高等学校に導入するため、IB候補校の認定に向けた科目別ワークショップの受講やIBの理念を取り入れた授業・探究活動を行う。

## 学校教育課（その8）

事業名	当初予算額	事業の概要
8 情報化に対応する教育の推進	千円 44,668	
(1) 高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業 【新規重点】	6,315	授業の充実による生徒の資質・能力の育成を図るため、推進校においてICTを効果的に活用した授業改善のための実践研究を行うとともに、ICTの活用推進に向けた教員研修等を実施する。
(2) 特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業【新規重点】	7,415	障害種や個々の障害に応じた主体的、対話的で深い学びを推進するため、特別支援学校においてICTを活用した授業実践や研修会を行うとともに、ICTの効果的な活用を検討する協議会を開催する。
(3) 県立学校システム管理者連絡協議会	322	県立学校の情報システムの運用管理者を対象に、校内ネットワーク運用に係るガイドラインの趣旨徹底を図るとともに、各種の情報交換を行うための連絡協議会を開催する。
(4) 授業目的公衆送信補償金	10,394	県立学校の授業等で円滑に著作物を公衆送信できるよう、著作権法に基づき補償金を指定団体に支払う。
(5) 教育情報提供事業	7,840	学校教育における情報化の推進に資するため、児童生徒及び教職員に対して教育素材、学習素材等教育情報をインターネットにより提供する。（総合学校教育センター）
(6) 県立学校情報通信技術支援事業	12,382	県立学校のICT担当教員の負担軽減やICT機器を活用した授業の充実を図るため、ヘルプデスクを設置して、各種ICT機器の活用時のトラブル等への対応や管理ツール等の運用を支援する。

## 学校教育課（その9）

事業名	当初予算額	事業の概要
9 研修の充実	千円 45,372	
(1) 初任者研修（小・中学校、県立学校）	14,500	<p>新任教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させるために、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象教員 小130人 中80人 高20人 特40人 計270人</li> <li>・研修内容 ①勤務校における実地研修 ②総合学校教育センター等における校外研修</li> </ul>
(2) 教職員研修関係経費	2,442	<p>教員の指導力等のより一層の向上を図るため、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時講師研修会</li> <li>・初任者フォローアップ研修</li> <li>・中堅教諭等資質向上研修</li> <li>・特別支援教育新任担当教員研修</li> <li>・特別支援学校における医療的ケア担当教員研修</li> </ul>
(3) 幼児教育の質的向上強化事業 【新規重点・将来対応分】	11,677	<p>幼児教育の質的向上を図るため、関係者が連携して幼児教育推進体制の在り方について研究・検討を行うとともに、幼保小連携の推進に向けた「幼保小の架け橋プログラム」の開発・実践等を行う。</p>
(4) 幼稚園新規採用教員研修	507	<p>幼稚園の新任教員に対して、基礎的素養と実践的指導力を養うとともに、幅広い知見を得させるために、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。</p>
(5) 幼児教育に係る会議・協議会経費	264	<p>幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育センターの運営やその機能、方向性等について検討するための各種会議を開催する。</p>
(6) 教育課程研究集会（小・中学校、特別支援学校）	1,926	<p>教員の指導力向上を図るため、小学校、中学校及び特別支援学校教育課程の実施上の諸問題に係る研究協議を行う。</p>
(7) 教員等資質向上推進協議会	252	<p>「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、県教育委員会が策定する校長及び教員の資質向上に関する指標等について協議するため、青森県教員等資質向上推進協議会を開催する。</p>

## 学校教育課（その10）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(8) 特別支援教育専門 研修	1,532	<p>特別支援教育担当教員に専門的知識を習得させるとともに、指導力の向上を図るため、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月研修 6人</li> </ul>
(9) 総合学校教育センター 感染症対策資材 整備事業	934	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、総合学校教育センターにおける消毒資材の整備を行う。 (総合学校教育センター)</p>
(10) 研修講座	11,338	<p>教職員の資質向上を図るため、各学校種別及び教科別等の研修を合計107講座実施する。(総合学校教育センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務研修講座 17講座 879千円</li> <li>・事務職員研修講座 3講座 48千円</li> <li>・小学校研修講座 16講座 3,656千円</li> <li>・中学校研修講座 18講座 1,332千円</li> <li>・高等学校研修講座 19講座 1,955千円</li> <li>・産業教育研修講座 16講座 1,503千円</li> <li>・特別支援教育研修講座 10講座 963千円</li> <li>・教育相談研修講座 8講座 1,002千円</li> </ul>

#### 4 教職員課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
1 あおもりっ子育てプラン21事業	千円 1,119,265	小学校の全学年において、学年2学級以上で33人学級編制を実施し、学年1学級は、学級を分割せず非常勤講師を配置する。 中学校の1年生及び2年生について、学年2学級以上で33人学級編制を実施する。 小学校の複式学級において、人数の多い学級に非常勤講師を配置する。
2 外部人材活用による教科指導等充実事業	21,631	学力向上を図るための教科指導の充実や教育課題に対応し、教員が子ども一人一人に向き合う環境づくりを行うため、中学校に非常勤講師を配置する。 ・令和4年度 14校(4学級以下の中学校を有する市町村) → 令和5年度 14校(4学級以下の中学校を有する市町村)
3 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業(小・中学校、高等学校)	126,960	教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員の事務的補助を行うスクールサポートスタッフの配置を拡充する。拡充に当たっては、障害者を雇用することとし、県教育委員会における障害者雇用を推進する。 ・令和4年度 小・中学校27校、高等学校22校 → 令和5年度 小・中学校42校、高等学校26校
4 「あおもりで働こう」小学校教員魅力向上事業【新規重点】	11,787	小学校教員の志望者の増加を図るため、小学校教員の魅力を伝える動画を作成し、大学生や高校生に向けてPR活動等を実施するとともに、臨時講師採用に向けた研修会等を開催する。
5 学校図書館活動支援事業	6,604	学校図書館の運営の改善及び機能向上により、授業等での積極的な活用を促進するため、県立高等学校に学校図書館サポーターを配置する。 ・配置人数 県立高校6名
6 スクールライフサポーター配置事業	4,376	県立高等学校において、教諭等と連携しながら特別な支援を要する生徒に対する授業補助や学校生活支援、社会性向上支援等を行うスクールライフサポーターを配置する。 ・配置校 県立高校3校
7 学校等における法務相談体制整備事業	1,988	深刻な児童生徒間トラブルや外部からの過剰な要求等に対応する教職員の負担軽減を図るとともに、児童生徒にとって最適な教育環境を維持するため、スクールロイヤーを配置する。

## 教職員課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要
8 学校評議員配置事業	千円 1,361	<p>県立学校において、家庭や地域と連携しながら特色ある教育活動を展開できるよう、学校長が学校運営に関する意見聴取等を行うため、保護者や地域住民等の代表者で構成される学校評議員を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置人数 1校当たり5名</li> <li>・会議開催 1年につき2回程度</li> </ul>
9 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業	890	<p>県立高等学校において、学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む教育活動を展開していくため、7校においてコミュニティ・スクールの実践研究を行う。</p>
10 高等学校定時制・通信制課程修学奨励金貸与事業	5,328	<p>働きながら高等学校の定時制課程及び通信制課程に在学する者に対し修学奨励金を貸与し、修学条件の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 高校定通課程在学者 経常的所得を得る職業についている者 一定の所得以下の者</li> <li>・貸与額 全学年 月額14,000円＋交通費相当額（月額4,000円を上限）</li> </ul>
11 高校奨学金貸与事業費補助	20,351	<p>公益財団法人青森県育英奨学会が実施する高校奨学金貸与事業に要する経費を補助する。</p>
12 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業（新型コロナウイルス感染症対策分（小・中学校））	97,169	<p>新型コロナウイルス感染症による教職員の業務の負担軽減を図るため、消毒等の感染症対策を行うスクールサポートスタッフを配置する。</p>
13 夜間中学需要等調査事業【新規】	993	<p>「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（教育機会確保法）等によって夜間中学における就学の機会等の措置を講ずるものとされていることを踏まえ、夜間中学に対するニーズ調査を実施し、本県における在り方を検討する。</p>

## 5 学校施設課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
1 県立学校施設の整備	4,450,228 (内当初予算分 4,239,919) (内2月補正分 210,309)	
(1) 県立学校施設の老朽化の解消等による安全・安心の確保	4,344,751 (内当初予算分 4,134,442) (内2月補正分 210,309)	<p>県立学校施設の老朽化の解消等による安全・安心の確保への対応として、校舎等改築、長寿命化対策及び大規模改修等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等建築 1,278,097千円 (継続) 三沢高校、八戸工業高校</li> <li>・長寿命化・重点改良事業費 545,642千円 (継続) 黒石養護学校 [校舎等改修] 弘前中央高校、野辺地高校 [体育館改修] (新規) 青森北高校、木造高校、八戸水産高校 [体育館改修]</li> <li>・調査設計 662,357千円 (継続) 八戸東高校、五所川原高校、下北地区統合校、 五所川原農林高校、県立盲学校・青森聾学校 [設計] 木造高校、十和田工業高校 [基本計画] (新規) 三本木農業恵拓高校 [基本計画] 弘前高校、八戸工業高校 [接続等可能性調査]</li> <li>・県立学校大規模改修 1,858,655千円 (内2月補正分 210,309千円) (継続) 高校21校、特別支援学校5校 (新規) 高校13校、特別支援学校5校</li> </ul>
(2) 県立特別支援学校の教室不足の解消等	105,477	<p>県立特別支援学校の教室不足への対応として、校舎の増築を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査設計 105,477千円 (継続) 七戸養護学校、むつ養護学校 [設計]</li> </ul>
2 県立学校設備の整備	412,396	<p>県立学校の実習設備や教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業教育設備整備費 300,488千円 (継続) 一般設備 (継続) 特別装置 (継続) 情報処理教育設備</li> <li>・教育用コンピュータ整備費 74,809千円 (継続) 県立高校25校・特別支援学校20校</li> <li>・理科教育等設備整備費 9,123千円</li> <li>・教材・設備整備費 27,976千円</li> </ul>

## 学校施設課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要								
3 県立高等学校等就学 支援金	千円 2,051,333	<p>家庭の教育費負担を軽減するため、県立高校等の一定の所得未満の世帯の生徒に対し、授業料に充てるための支援金を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給対象           <ul style="list-style-type: none"> <li>全日制・定時制・通信制</li> <li>市町村民税の課税標準額に100分の6を乗じて得た額から市町村民税の調整控除の額を差し引いた額が304,200円未満の世帯</li> <li>※下線部について、早生まれの生徒等の世帯の場合は、「市町村民税の課税標準額から330,000円を差し引いた額に100分の6を乗じて得た額」</li> <li>専攻科               <ul style="list-style-type: none"> <li>住民税非課税世帯又は住民税非課税世帯に準じる世帯</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・支給単価           <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>全日制・専攻科（住民税非課税世帯）</td> <td style="text-align: right;">月額 9,900円</td> </tr> <tr> <td>専攻科（住民税非課税世帯に準じる世帯）</td> <td style="text-align: right;">月額 4,950円</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td style="text-align: right;">月額 2,700円</td> </tr> <tr> <td>通信制</td> <td style="text-align: right;">1単位 310円</td> </tr> </table> </li> </ul>	全日制・専攻科（住民税非課税世帯）	月額 9,900円	専攻科（住民税非課税世帯に準じる世帯）	月額 4,950円	定時制	月額 2,700円	通信制	1単位 310円
全日制・専攻科（住民税非課税世帯）	月額 9,900円									
専攻科（住民税非課税世帯に準じる世帯）	月額 4,950円									
定時制	月額 2,700円									
通信制	1単位 310円									
4 奨学のための給付金 事業	536,788	<p>低所得世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、県立高校等の生徒の保護者等に対し、奨学のための給付金を給付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付対象 年収270万円未満程度の世帯</li> <li>・給付額           <ul style="list-style-type: none"> <li>生活保護受給世帯 32,300円（専攻科 50,500円）</li> <li>第1子の高校生等がいる世帯 117,100円 (通信制・専攻科 50,500円)</li> <li>15歳以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯 143,700円 (通信制・専攻科 50,500円)</li> </ul> </li> </ul>								

## 6 生涯学習課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
1 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	286,159	
(1) 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（キャリア教育の推進）	1,324	学校におけるキャリア教育のより効果的な実施に向け、地元企業等と学校のネットワーク会議や教育支援活動展示会、模擬授業等を行う。
(2) 少年自然の家運営管理事業	217,224	青少年の自主性、社会性を涵養し、自己の形成を図るため、青少年教育施設において実践的・体験的な活動を行う。 (梵珠少年自然の家・種差少年自然の家)
(3) 子どもの読書活動推進事業	3,426	「青森県子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する。
(4) いじめ防止キャンペーン推進事業	7,441	いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を主題としたテレビCMを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う。
(5) 特別支援学校における家庭教育支援事業	707	障害のある児童生徒の保護者等が、子どもの健やかな成長のために、障害児の心理や行動について理解を深めたり、家庭教育上の課題や卒業後の就労等について必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士並びに地域住民と交流を深める機会とする。
(6) 地域と学校とのパートナーシップ強化事業【新規重点】	5,619	地域学校協働活動の更なる推進を図るため、学校関係者と地域の企業等との情報交換会等や市町村向けの研修会を実施するとともに、県立学校に地域学校協働活動推進員を配置し、活動の効果検証を行う。

## 生涯学習課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要
(7) 学校・家庭・地域連携協働推進事業	千円 40,776	<p>地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を推進するため、より多くの地域住民等の参画による多様な活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進事業 2,539 千円</li> <li>・学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助 38,237 千円</li> </ul>
(8) あおもり家庭教育支援総合事業	2,566	<p>全ての親が安心して家庭教育を行うため、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるフェスタの開催や、家庭教育支援に関わる人のネットワークを広げる研修会等を実施する。</p>
(9) あおもり家庭教育力向上事業	1,025	<p>地域における家庭教育支援体制を整備するため、あおもり家庭教育アドバイザーの養成及び資質向上を図る講座を実施するとともに、家庭教育に関する研修会へのアドバイザーの派遣等を行う。 (総合社会教育センター)</p>
(10) 家庭教育支援動画制作普及事業	3,866	<p>子育てに関わる人々の抱える不安や悩みの解消や、家庭教育の充実を図るため、各家庭や地域での様々な子育て情報に関する動画配信及びテレビ番組放送を行う。(総合社会教育センター)</p>
(11) 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業	995	<p>中学生・高校生のやる気を引き出し、自らの夢に向かって主体的に行動できる人材を育成するため、コミュニケーション、コーチング等の所定の研修を修了した大学生によるワークショップを実施する。(総合社会教育センター)</p>
(12) 高校生スキルアッププログラム推進事業	190	<p>高校生の知識や経験の幅を広げ、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るため、学校外における学修への積極的な取組を促進する。 (総合社会教育センター)</p>
(13) 青森で生きる未来人財育成事業	1,000	<p>青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的に、地域で行われる子どものための活動に高校生・大学生を派遣し、異年齢交流を行う。(総合社会教育センター)</p>

## 生涯学習課（その3）

事業名	当初予算額	事業の概要
2 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人材の育成	千円 4,096	
(1) 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（社会教育主事の資質・能力向上）	325	社会教育主事の資質・能力向上を図るため、市町村の社会教育主事等が中心となり、首長部局、企業・地域づくり団体等と連携・協働し、地域課題解決等に関する事業を企画・実践する。
(2) 若者の社会参加促進事業	1,018	若者の社会参加を促進するため、若者団体等が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施するとともに、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の自立を支援する体験活動を実施する。
(3) パワフルA O M O R I ! 創造塾	1,196	地域活動に係る潜在的な人材を掘り起こし、講義・演習や企画・運営を通して、地域を担う人材を育成するとともに、育成した人材同士や地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進する。 (総合社会教育センター)
(4) 地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業	801	学校・家庭・地域及び企業が連携・協働して地域の子どものため、コーディネーター等のスキルアップ及び人材の拡充を図るための研修を行う。(総合社会教育センター)
(5) 生涯学習・社会教育関係職員研修講座	756	生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行う。また、ネットワーク形成のため、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行う。 (総合社会教育センター)
3 生涯を通じた学びと社会参加の推進	14,634	
(1) 特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業	802	県立特別支援学校の施設・教育機能を積極的に開放し、地域住民の多様な学習ニーズに対応することにより、県民の生涯学習を推進し、開かれた学校づくりを促進する。

## 生涯学習課（その４）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(2) 障害者の生涯学習支援事業	1,014	障害のある青年の地域社会における自立と社会参加を支援するとともに、地域住民との交流の機会とする。
(3) 元気青森人を創造するeラーニング推進事業	987	県民個人が、自己の生き方や働き方を選択しながら人生を設計できるよう、いつでも、どこでも手軽に学べるインターネットによる講座「eラーニング」により、学習教材の配信等を行う。 (総合社会教育センター)
(4) 学習情報収集・提供事業	7,859	県民の学習活動を促進するため、県民に対して各種学習情報の提供を行う。(総合社会教育センター) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習情報の収集・提供事業 7,343千円</li> <li>・視聴覚ライブラリー運営事業 516千円</li> </ul>
(5) 近代文学館特別展・企画展開催事業	2,360	青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展や企画展を開催する。(県立図書館) <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展開催事業 1,796千円</li> <li>・企画展開催事業 564千円</li> </ul>
(6) 読書バリアフリー推進事業	1,612	視覚障害者等の利用者が、より図書館を利用しやすいようにするため、各種機器を整備、更新する。(県立図書館)
4 社会教育推進のための基盤整備	287,136	
(1) 生涯学習推進基盤整備事業	1,048	生涯学習振興法に基づき、本県の生涯学習に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について、調査審議する生涯学習審議会等を運営する。
(2) 県立社会教育施設感染症対策資材整備事業	3,736	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、社会教育施設における消毒資材の整備を行う。
(3) 青森県社会教育委員の運営	116	社会教育法に基づき、本県社会教育について調査研究等を行う社会教育委員の会議を運営する。

## 生涯学習課（その5）

事業名	当初予算額	事業の概要
(4) 社会教育主事有資格者育成派遣事業	千円 619	社会教育主事の有資格者を育成し、今後の社会教育指導体制を充実させるため、指導主事や学校教員等を社会教育主事講習に派遣する。
(5) 県立図書館資料整備	65,475	県民の生涯学習の場として、また、県内の図書館のセンターとして、県民に必要な資料を整備し、充実した図書館サービスを提供する。（県立図書館）
(6) 総合社会教育センター運営管理事業	132,490	総合社会教育センターにおいて、一部業務について指定管理者による運営・管理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合社会教育センター指定管理料 125,626 千円</li> <li>・総合社会教育センター運営費 6,864 千円</li> </ul>
(7) 総合社会教育センター施設設備改修工事	83,652	給排水衛生設備の老朽化等に対応するため、改修工事を行う。（総合社会教育センター）

## 7 スポーツ健康課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
1 学校体育・スポーツの充実	87,805	
(1) 学校体育実技講習会	895	教員の指導力の向上を図るため、授業や運動部活動における指導法の講習会を実施する。
(2) 体力向上推進事業	869	児童生徒が自ら進んで運動できる環境づくりを支援するため、発達の段階を踏まえた体力向上の実践的な指導法の充実に向けた研修会等を実施する。
(3) 全国大会派遣費補助(高等学校・中学校)	13,220	高等学校及び中学校の体育・スポーツの振興を図るため、全国大会への選手・役員の派遣費に対し補助する。 補助金交付先 青森県高等学校体育連盟及び青森県中学校体育連盟
(4) 学校における運動部活動推進事業	11,610	運動部活動の指導体制充実及び質的向上を図るため、運動部活動指導者を対象とした研修会を開催するとともに、市町村立中学校及び県立学校に部活動指導員を配置する。
(5) 地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【新規】	61,211	公立中学校における休日の部活動の地域移行を推進するため、指導者の人材バンクの構築を行うとともに、県立中学校において部活動の地域移行に向けた実証を行うほか、市町村が行う地域移行体制の構築を支援する。
2 健康教育の充実	442,136	
(1) 学校医等の配置	74,923	県立学校の保健管理の充実を図るため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等を配置する。
(2) 定期健康診断費	88,788	県立学校教職員及び児童生徒の健康管理の適正を期するため、定期健康診断を実施する。
(3) ストレスチェック実施経費	4,380	県立学校教職員のメンタルヘルス対策に資するため、ストレスチェックを実施する。
(4) 交通安全プロモーション事業	103	交通安全教育の啓発及び交通安全行動の定着化を図るため、交通安全教材を配付するとともに、交通安全推進地区の指定により地域全体での交通安全教育を推進する。

## スポーツ健康課（その２）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付	134,341	<p>県立学校児童生徒の学校管理下における災害に対し、災害共済給付金を給付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共済掛金 47,781 千円</li> <li>・ 災害共済給付金 86,560 千円</li> </ul>
(6) 学校安全指導者研修	302	各学校において、防犯・交通安全教室、避難訓練、心肺蘇生法実技講習等の開催を通じ、実践的な安全教育及び安全管理等の充実を図るため、教職員等を対象とした指導者研修会を開催する。
(7) 命を守る！防災教育推進事業費【継続重点】	3,496	児童生徒が自然災害発生時に適切に対応できる資質・能力の向上を図るため、指定校による取組をまとめた防災教育実践事例集を作成・配布するとともに、防災教育推進事業成果発表会や学校防災の中核となる教職員を養成する研修会を実施する。
(8) 健康教育関係事業	1,339	生涯にわたり心身ともに健康でたくましく生きることのできる児童生徒を育成するため、健康・体力実態調査、表彰活動、研究大会等を行う。
(9) 県立学校AED整備費	4,314	県立学校等に、自動体外式除細動器（AED）を整備する。
(10) 学校安全総合支援事業	3,051	学校種・地域の特性に応じた地域全体の学校安全推進体制の構築を図るための実践研究を行う。
(11) 養護教諭研修（新規採用研修、フォローアップ（２年次）研修、中堅教諭等資質向上研修（前期・後期））	3,819	<p>新規採用の養護教諭に対して、職務に必要な基礎知識及び技術を習得させるため、実践的な研修を行う。</p> <p>採用２年目の養護教諭に対しては、これまでの保健室経営を振り返り、自校の健康課題のとらえ方、解決策及び活動について、成果と新たな課題を確認する。</p> <p>また、採用５～７年目、１２～１５年目の中堅の養護教諭に対しては、指導実践力の更なる向上を図るための研修を行う。</p>
(12) いきいき青森っ子健康づくり事業	1,518	健康教育実践研究校の指定により、本県における健康教育の在り方、進め方の協議及び健康課題解決のための具体的な指導内容、指導方法について研究等を行う。
(13) 被災児童生徒就学援助事業（医療費・学校給食費）	453	東日本大震災により被災し、就学困難と認められる児童生徒の保護者等を対象に就学援助を行う市町村に対して補助するとともに、県立学校の児童生徒の保護者等を対象に就学援助を行う。

## スポーツ健康課（その3）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
(14) 県民の未来の健康創造事業 【新規重点・将来対応分】	2,559	児童生徒及びその保護者の生活習慣の実態を調査し、肥満傾向児出現率の改善に向けた取組を推進するとともに、児童・保護者の意識の向上を図るため、教員を対象とした体育・食育の楽しさアップ研修会を開催する。
(15) がん教育総合支援事業	833	学習指導要領の改訂に伴い、体育科及び保健体育科で取扱うこととなった「がん」について、指導者の知識及び指導内容の均一化等を図るため、検討委員会を設置し課題整理及びがん教育の進め方について検討するとともに、指導者向け研修会を実施する。
(16) 県立学校等感染症対策資材整備事業費	83,756	県立学校等において、感染症対策を徹底する上で継続的に必要となる資材の整備を行う。
(17) 夜食費補助	306	県立の夜間定時制高校において学ぶ勤労青少年の健康保持と就業援助を図るため有職少年等を対象とした夜食費の補助を行う。
(18) 学校給食衛生管理事業	7,668	学校給食による食中毒を未然に防止するため、食材の定期点検、ねずみ・ゴキブリの定期駆除、食材保存用ビニール袋の整備等を行う。
(19) 県立学校給食設備整備事業	3,375	衛生管理の徹底を図るため、県立学校の給食設備・食器具の整備を行う。
(20) 県立学校給食委託事業	21,650	特別支援学校の給食について、近隣の市町村立の学校給食施設に委託し、学校給食を実施する。
(21) 栄養教諭・学校栄養職員研修（新規採用研修、フォローアップ（2年次）研修、中堅教諭等資質向上研修（前期・後期））	1,162	新規採用の栄養教諭及び学校栄養職員に対して、職務に必要な基礎知識及び技術を習得させるため、実践的な研修を行う。 採用2年目の栄養教諭及び学校栄養職員に対しては、これまでの学校給食の管理を振り返り、課題のとらえ方、解決策及び活動について、成果と新たな課題を確認する。 また、採用5～7年目、12～15年目の中堅の栄養教諭及び学校栄養職員に対しては、指導実践力の更なる向上を図るための研修を行う。
3 スポーツの振興	2,064,492	
(1) 社会体育費	3,024	社会体育に関する会議、研修会、表彰等を行う。

## スポーツ健康課（その４）

事業名	当初予算額	事業の概要
(2) 全国スポーツ推進委員研究協議会開催費負担金【新規】	千円 2,033	令和５年１１月に青森市で開催される第６４回全国スポーツ推進委員研究協議会の開催に要する経費を負担する。 負担金交付先 第６４回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会実行委員会
(3) 各種体育・スポーツ大会開催費助成	4,900	本県の体育・スポーツの振興を図るため、県内で開催される特定の県大会及び東北・全国大会等の開催経費に対して助成する。 ・全国大会 ５大会 ・東北大会 １３大会 ・県内大会 ６大会
(4) 体育施設運営管理事業	1,401,433	新総合運動公園、総合運動公園、県営スケート場、県武道館の４施設について、指定管理者による運営・管理を行う。 ・体育施設運営管理費（経常的経費） 728,976千円 ・体育施設改修等経費 114,338千円 ・長寿命化推進改修等経費 408,637千円 ・県有体育施設感染症対策資材整備事業費 2,802千円 ・新青森県総合運動公園新水泳場等整備運営事業費 96,092千円 ・新青森県総合運動公園新水泳場備品購入費 50,379千円 ・体育施設運営管理費（指定管理者選定経費） 209千円
(5) 青森県スポーツ協会補助	29,925	スポーツ振興を図る（公財）青森県スポーツ協会に対して運営費を補助する。 補助金交付先 （公財）青森県スポーツ協会
(6) スポーツ振興事業職員費	18,000	（公財）青森県スポーツ協会のスポーツ振興事業に要する人件費に対して補助する。 補助金交付先 （公財）青森県スポーツ協会
(7) 青森県民駅伝競走大会開催費	16,811	市町村対抗形式による青森県民駅伝競走大会を青森市で開催する。
(8) スポーツ科学センター運営管理費	60,849	スポーツ科学を活用した競技力向上を図るため、青森県スポーツ科学センターの運営を行う。

## スポーツ健康課（その5）

事業名	当初予算額	事業の概要
(9) 国体・東北総体派遣事業	千円 96,243	国民体育大会及び東北総合体育大会への本県選手・役員派遣費に対して補助する。 補助金交付先 （公財）青森県スポーツ協会
(10) 競技力向上事業	110,106	本県の競技力向上を図るため、選手強化事業に対して補助する。 補助金交付先 （公財）青森県スポーツ協会
(11) スポーツ・レクリエーション振興事業	7,718	県民の生涯を通じたスポーツ活動の実践を図り、県民の参加意欲を喚起するため、青森県民スポーツ・レクリエーション祭を開催する。
(12) 「スポーツでみんなを元気に」健康力アップ事業費【継続重点】	4,229	スポーツを通じた健康づくりを推進するため、地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブが市町村のスポーツ部局や健康部局及び体育(スポーツ)協会等と連携し、本県及び地域の健康課題を踏まえた運動・スポーツ活動の実施に取り組む。
(13) 広域スポーツセンター運営事業	3,792	スポーツやレクリエーションを通じた世代間交流の場として、地域の教育力を高めることが期待できる総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援及び啓発を行うとともに、そのノウハウを有した人材(クラブマネージャー)の養成講習会を行う。
(14) 競技力向上対策本部運営費	9,492	第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据えた総合的・戦略的な各種競技力向上対策の企画・立案を行う。
(15) 競技力向上対策特別事業	247,092	競技力向上を図るため、競技団体へのアドバイザー派遣・強化拠点校や有力選手等への活動支援、女性アスリートの競技継続支援、指導者の育成及び公認資格の取得支援、トップレベルコーチの招へい、競技団体間の情報共有の強化、医・科学スタッフによるサポートの強化、特殊競技用具整備、雇用奨励金等による選手・指導者の雇用環境充実支援を行う。
(16) スポーツ科学チームサポート事業	4,983	スポーツ科学専門員による科学的分析に基づくトレーニングのサポートを行う。
(17) スポーツ科学センター環境充実事業	43,862	スポーツ科学チームサポート事業の実施に向け、スポーツ科学センターの組織の充実及び機器の整備等を行う。

## 8 文化財保護課（その1）

事業名	当初予算額	事業の概要
1 文化財の保護・保存	千円 34,130	
(1) 文化財の保護体制の充実	3,677	<p>国及び県指定の建造物、記念物及び埋蔵文化財包蔵地をパトロールし、文化財の保護を図るとともに、県指定候補文化財の現況調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護指導員費 2,449 千円</li> <li>・文化財保護推進事業費 1,228 千円</li> </ul>
(2) 特別天然記念物カモシカの保護のための調査	2,054	カモシカ保護のため、下北半島保護地域及び北奥羽山系保護地域の生息状況及び生息環境の通常調査を実施する。
(3) 遺跡分布・範囲確認調査	13,000	開発予定地域で遺跡の所在範囲を確認し、遺跡台帳及び報告書の作成を行い、各種開発事業との調整に対応する資料を整備する。
(4) 文化財の保存・修理等の支援	15,399	<p>県内の文化財の保存・活用を図るため、国及び県指定の文化財修理や史跡整備、発掘調査等を行う事業者に対して助成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財等保護費補助 482 千円</li> <li>・文化財修理費補助 6,478 千円</li> <li>・記念物環境整備費補助 3,773 千円</li> <li>・指定文化財管理費補助 1,803 千円</li> <li>・文化財防災費補助 1,216 千円</li> <li>・埋蔵文化財緊急発掘調査費補助 1,647 千円</li> </ul>
2 文化財の公開・活用	11,880	
(1) 小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業【継続重点】	3,071	縄文遺跡をはじめとする県内の文化財の保存・活用に関わる人材の育成を図るため、小学生と地域との連携による地域の文化財の学習・体験活動等を実施する。
(2) 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業【継続重点】	8,809	<p>世界文化遺産の構成資産以外も含めた地元の縄文遺物の価値や魅力を県民に伝達し、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、市町村と縄文遺物の活用に向けた連絡会議、授業で活用する縄文遺物セットの製作、地元の縄文を紹介する講演会等の開催、県内各地で配布する「あおもり縄文カード」の作成等を行う。</p> <p>(埋蔵文化財調査センター)</p>

## 文化財保護課（その2）

事業名	当初予算額	事業の概要
	千円	
3 伝統芸能・技術の継承	5,349	
(1) 北海道・東北ブロック民俗芸能大会	779	北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに無形民俗文化財の保存・伝承及び文化財の公開による地域振興等に寄与するため、民俗芸能大会を開催する。（令和5年度は北海道で開催予定）
(2) こども民俗芸能大会	4,570	後継者の育成と郷土愛の醸成を図るため、子どもたちによる民俗芸能伝承活動の成果発表会を開催する。また、大人の優れた民俗芸能を鑑賞し、日頃演じている芸能の本来の意義や正確な伝承内容を学ぶ。（令和5年度は十和田市で開催予定）
4 博物館等施設の機能の充実	635,100	
(1) 文化施設感染症防止等対策強化事業	3,941	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文化施設における消毒資材の整備等を行う。
(2) 郷土館運営管理事業	94,383	県立郷土館において、考古、自然、歴史、民俗、産業の各分野に係る調査研究、資料の収集・保存、教育普及などの博物館活動を行う。（郷土館）
(3) 郷土館長寿命化改修関連事業	66,941	郷土館の長寿命化改修に係る設計を行うとともに、資料等の館外退避に係る準備を行う。（郷土館）
(4) 三内丸山遺跡運営管理事業	294,091	三内丸山遺跡の発掘調査や特別研究、体験学習などの保存・活用事業を実施し、縄文遺跡を代表する三内丸山遺跡の情報発信を行う。（三内丸山遺跡センター） <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮整備費 1,281 千円</li> <li>・調査研究費 52,171 千円</li> <li>・普及啓発費 6,005 千円</li> <li>・運営諸費等 234,634 千円</li> </ul>

## 文化財保護課（その3）

事業名	当初予算額	事業の概要						
(5) 特別展開催事業	千円 10,488	見学者の興味・関心を喚起するテーマに沿って、他の遺跡の重要文化財などを借用した特別展を開催する。 (三内丸山遺跡センター) <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>特別展名称（予定）</th> <th>開催期間（予定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「三内丸山とヒスイ」</td> <td>令和5年4月～7月</td> </tr> <tr> <td>「三内丸山と漆」</td> <td>令和5年7月～9月</td> </tr> </tbody> </table>	特別展名称（予定）	開催期間（予定）	「三内丸山とヒスイ」	令和5年4月～7月	「三内丸山と漆」	令和5年7月～9月
特別展名称（予定）	開催期間（予定）							
「三内丸山とヒスイ」	令和5年4月～7月							
「三内丸山と漆」	令和5年7月～9月							
(6) 「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業【新規重点】	30,537	世界文化遺産として認められた三内丸山遺跡の価値を未来に継承し、伝えるため、地域住民や幅広い世代が参画し、保存・活用の意識を高めるとともに、国内・国外観光客への積極的なPRを行う。 (三内丸山遺跡センター)						
(7) 常設展示室環境整備事業	9,704	常設展示室（さんまるミュージアム）の照明環境及び展示ケースの整備を行う。（三内丸山遺跡センター）						
(8) 三内丸山遺跡保存・活用関連	125,015	三内丸山遺跡の適切な保存と積極的な活用に向けた整備等を行う。（三内丸山遺跡センター） <ul style="list-style-type: none"> <li>・三内丸山遺跡史跡整備事業 81,140千円</li> <li>・三内丸山遺跡長寿命化事業 43,875千円</li> </ul>						
5 世界文化遺産の保存・活用の推進	623,349							
(1) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業【継続重点】	41,689	「北海道・北東北の縄文遺跡群」を次の世代に守り伝えていくため、関係道県及び市町と共同で設置する包括的保存管理体制の下、適切な保存と活用を推進するほか、登録直後の関心の高さを活かして国内外へ縄文遺跡群の価値や魅力を発信する。 (三内丸山遺跡センター)						
(2) 「青森の縄文遺跡群」保存・活用事業【新規重点・将来対応分】	125,649	「青森の縄文遺跡群」の適切な保存・活用を推進していくため、関係自治体や民間団体等と連携し、縄文遺跡群の価値や魅力が広く国内外で理解され、世界に誇り、世界からも選ばれる場所となるよう普及啓発、認知度向上に向けた県外プロモーション、関係市町の遺跡施設等の整備に対する支援等の受入態勢の充実に取り組む。 (三内丸山遺跡センター)						

## 文化財保護課（その4）

事業名	当初予算額	事業の概要
(3) 「青森の縄文遺跡群」 情報発信拠点施設関 連事業	千円 456,011	県内に所在する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の8つの構成資産について、世界文化遺産としての価値の伝達や遺跡への来訪・周遊を促進する情報発信のための拠点施設を整備する。 （三内丸山遺跡センター）

## 9 高等学校教育改革推進室

事業名	当初予算額	事業の概要
1 県立高等学校教育改革推進事業	千円 26,242	<p>県立高等学校教育改革推進計画の着実な推進のため、県立高等学校の特色等を発信するホームページの開設や全国からの生徒募集等を行うとともに、令和10年度以降の実施計画の策定に向けて検討会議や高等学校教育に関する意識調査を実施する。</p>

## 参考 令和5～7年度 学校における働き方改革プラン 及び令和5年度における主な関連事業

### 1 プランの位置付け

県教育委員会が実施する「学校における働き方改革」に向けた目標や取組内容等を示すとともに、市町村教育委員会においても取り組む必要がある内容を示したもの。

### 2 職場としての「学校」が目指す姿（プランの目的）

- 教職員がワーク・ライフ・バランスを実現し、心身ともに健康で心にゆとりをもって働くことのできる職場環境を構築する。
- 教職員が子どもと向き合うことのできる時間を十分に確保し、やりがいを持って働くことのできる職場環境を構築することで、学校教育の質を維持・向上させる。

### 3 期間

令和5～7年度（3年間）

### 4 目標等

#### （1）県立学校の教育職員の在校等時間の上限方針

【原則】 時間外在校等時間の上限時間

① 1か月 45時間以内、② 1年間 360時間以内

【特例】 児童生徒等に係る臨時的な特別の事情により勤務せざるを得ない場合

① 1か月 100時間未満、② 1年間 720時間以内、  
③ 複数月の平均 月80時間以内、④ 45時間を超える月数 6か月以内

#### （2）本プランにおける目標

- ① 時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の割合の減少を目指す。特に、月80時間を超える教職員がゼロになることを目指す。
- ② 「子どもと向き合う時間が確保できていると感じている教育職員の割合」の増加を目指す。
- ③ 全市町村において在校等時間の上限方針及び県の目標を踏まえた基本方針・実施計画等の策定を目指す。

### 5 取組内容

#### （1）県立学校に関する取組

##### 【県教育委員会における取組】

##### ① 組織マネジメントに関する方策

PDC Aサイクルによる取組の推進、教職員の在校等時間の把握の徹底、教職員のメンタルヘルス対策の充実

##### ② 働きやすい環境を構築するための方策

教職員の意識改革、保護者・地域住民等の理解・協力の下での取組の推進、ワーク・ライフ・バランスの推進、専門スタッフの活用

- ③部活動による負担を軽減するための方策  
「部活動の指針」の徹底、部活動指導員の活用、部活動の地域移行の推進
- ④成績処理、その他の事務処理を効率化するための方策  
ICT活用の推進、報告書の様式等の簡素化、調査内容・方法等の見直し、事務処理の効率化
- ⑤外部対応による負担を軽減するための方策  
校外の会議・研修の見直し、学校運営上のトラブルに対応する教職員の負担軽減

#### 【県立学校における取組】

- ①組織マネジメントに関する方策  
PDCAサイクルによる取組の推進、教職員の在校等時間の把握の徹底
- ②働きやすい環境を構築するための方策  
教職員の意識改革、職員間の信頼関係構築、ワーク・ライフ・バランスの実現、教職員間の業務の平準化、保護者や地域の人財等との連携・協働
- ③部活動による負担を軽減するための方策  
「部活動の指針」の徹底、複数担当制の工夫
- ④会議・打合せを効率化するための方策  
会議等の運営方法の工夫
- ⑤成績処理、その他の事務処理を効率化するための方策  
校務へのICT活用の推進、報告書の様式等の簡素化、調査等への対応、口座振替の完全実施
- ⑥学校行事の負担を軽減するための方策  
学校行事等の見直し

#### (2) 市町村教育委員会等に対する支援

県教育委員会は、市町村立学校に直接効果を及ぼす全県的取組の実施を通して市町村立学校を支援するとともに、市町村教育委員会に対して、所管の学校における働き方改革の基本方針・実施計画等の策定を促すなど、必要な助言や情報提供を行い、市町村教育委員会を支援する。

## 6 令和5年度における主な関連事業

#### (1) 専門スタッフの活用

- 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業： 164,301千円
- 学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業： 155,883千円
- 学校等における法務相談体制整備事業： 1,988千円
- 学校における運動部活動推進事業： 11,610千円
- 学校における文化部活動推進事業： 3,364千円
- 学校図書館活動支援事業： 6,604千円
- スクールライフサポーター配置事業： 4,376千円

#### (2) 校務等へのICT活用の推進、事務処理の効率化

- 校務のICT活用推進事業： 253,069千円
- 県立学校情報教育推進事業： 93,332千円
- 特別支援教育就学奨励費システム保守委託経費： 935千円

#### (3) 中学校における休日の部活動の地域移行推進

- 地域スポーツクラブ活動体制推進事業： 61,211千円

## 参考 令和5年度 学校教育指導の方針と重点

### 1 方 針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

### 2 重 点

#### (1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、確かな学力を身に付けることができるよう、目指す資質・能力を明確にするとともに、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画等の整備

イ 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成に向けた教材研究の深化

ウ 一人一人の学習の過程や成果の的確な把握と指導の改善につながる評価の工夫

エ 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

オ 学校図書館やICTなどを活用した、子どもの学びを支援する学習環境と学習活動の充実

#### (2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、教育活動全体を通じて道徳性の育成に努める。

ア 道徳教育を推進する指導体制と全体計画の整備・充実

イ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実

エ 道徳科における学習状況及び道徳性に係る成長の様子の継続的な把握と、評価を生かした指導の工夫

#### (3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

#### (4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

#### (5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実
- エ 児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応の徹底

## (6) キャリア教育の充実

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質・能力の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

## (7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもなど特別な配慮を必要とする子どもが、障害等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- ウ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

## (8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験活動の充実

## (9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

## (10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報モラルを含む情報活用能力を身に付けることができるよう、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の充実

## (11) 研修の充実

教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修の充実に努める。

- ア 教員等の資質の向上に関する指標を踏まえた研修の推進
- イ 日常的に学び合い、指導力を高め合う校内研修体制の整備・充実
- ウ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実
- エ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- オ 家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の研究・推進

## 参考 令和5年度 社会教育行政の方針と重点

### 1 方 針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

### 2 重 点

#### (1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

#### (2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

#### (3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

#### (4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

# 参考 令和5年度 体育・健康・スポーツ行政の方針と重点

## 1 方 針

県民一人一人が、生涯にわたり健やかで活力に満ちた生活を送ることができるよう、学校における体育・健康教育の充実、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。

## 2 重 点

### (1) 学校における体育・スポーツの充実

児童生徒が、豊かなスポーツライフの実現を目指し、自ら進んで運動に親しむ資質や能力を身に付け、健康の保持増進と体力の向上を図ることができるよう、学校における体育・スポーツの充実に努める。

- ア 教科体育（保健体育）における学習指導の充実
- イ 体力の向上を図る指導の充実
- ウ 体育（保健体育）担当教員等の研修の充実
- エ 運動部活動の充実

### (2) 健康教育の充実

児童生徒が、心身ともに健康で安全な生活について理解し実践できるよう、学校、家庭、地域社会の連携を図り、学校保健、学校における食育及び学校安全を総合的に推進し、健康教育の充実に努める。

- ア 学校保健の充実
- イ 学校における食育の充実
- ウ 学校安全の充実
- エ 健康教育担当教員等の研修の充実

### (3) スポーツの推進

県民が生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現できるよう、スポーツに親しむ環境づくりと競技力を向上させる環境づくりの充実に努め、スポーツの推進に努める。

- ア 県民のスポーツ参画人口の拡大
- イ スポーツを通じた活力ある社会の実現
- ウ 本県の競技力向上と次世代アスリートの発掘・育成・強化

### (4) 第80回国民スポーツ大会に向けた競技力向上の推進

2026年に本県で開催される第80回国民スポーツ大会での天皇杯・皇后杯の獲得に向けた総合的な競技力向上に努める。

## 参考 令和5年度 文化財保護行政の方針と重点

### 1 方 針

郷土への愛着と誇りを培い、うるおいと活力のある県民生活を実現するため、次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用に努める。

### 2 重 点

#### (1) 文化財の保護・保存

かけがえのない文化財を次代に伝えるため、適切に管理し、保護・保存に努める。

- ア 文化財を大切にし、守り伝えようとする意識の啓発
- イ 文化財の調査や記録作成の実施
- ウ 国や県の文化財指定の推進
- エ 文化財の保存・修理等の支援
- オ 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を未来に継承する取組の推進

#### (2) 文化財の公開・活用

県民が文化財に興味・関心を持ち、親しめるよう、公開・活用と情報発信に努める。

- ア 文化財の公開・活用の促進と情報発信
- イ 史跡等の公有化や整備の支援

#### (3) 伝統芸能・技術の継承

地域で生まれ、保存・伝承されてきた伝統芸能や技術の継承に努める。

- ア 伝統芸能・技術の後継者の育成支援と発表機会の充実
- イ こどもの伝統芸能伝承活動の推進

#### (4) 博物館等施設の機能の充実

県民が文化財に触れ、体験・体感できる機会の充実と情報発信に努める。

- ア 県立郷土館の展示・教育普及・調査研究活動の充実と情報発信
- イ 三内丸山遺跡センターの遺跡及び遺跡の出土品の保存、遺跡に関する調査研究・展示・教育普及活動の充実と情報発信
- ウ 埋蔵文化財調査センターの発掘調査・研究活動と出土品等の保存・活用の充実及び情報発信

# 参考 ○令和5年度 青森県教育委員会機構図

○ 本庁所在地  
〒030-8540 青森市長島1-1-1

教育委員会  
教育長  
教育次長(2人制)

教育政策課 Tel 017-734-9865 Fax 017-734-8267	職員福利課 Tel 017-734-9917 Fax 017-734-8276	学校教育課 Tel 017-734-9880 Fax 017-734-8270	職員課 Tel 017-734-9893 Fax 017-734-8274	学校施設課 Tel 017-734-9873 Fax 017-734-8268	生涯学習課 Tel 017-734-9887 Fax 017-734-8272	スポーツ健康課 Tel 017-734-9906 Fax 017-734-8275	文化財保護課 Tel 017-734-9919 Fax 017-734-8280	高等学校教育改善推進室 Tel 017-734-9866 Fax 017-734-8003
総務グループ 政策企画グループ 情報広報グループ	総務・給与グループ 人事法規グループ 共済企画・保健グループ 異籍給付・年金グループ	総務・調整グループ 小中学校指導グループ 高等学校指導グループ 生徒指導支援グループ 特別支援教育推進室 生徒指導相談電話 24時間子供SOSダイヤル Tel 017-722-7434 Tel 0120-0-78310	総務・免許グループ 小中学校人事グループ 高等学校人事グループ 人事制度グループ	総務グループ 施設整備グループ 助成グループ	総務グループ 企画振興グループ 地域連携推進グループ	総務グループ 体育・健康グループ スポーツ振興グループ 競技方向上対策グループ	総務グループ 文化財グループ 理蔵文化財グループ	

## 出先機関

- 東青教育事務所  
〒038-0031 青森市三内字丸山198-4  
(Tel 017-764-0766 Fax 017-764-6727)
- 西北教育事務所  
〒037-0046 五所川原市栄町10  
(Tel 0173-35-2170 Fax 0173-33-3663)
- 中南教育事務所  
〒036-8345 弘前市蔵主町4  
(Tel 0172-32-4451 Fax 0172-36-6584)
- 上北教育事務所  
〒039-2593 上北郡七戸町蛇坂55-1  
(Tel 0176-62-2128 Fax 0176-62-2130)
- 下北教育事務所  
〒035-0073 むつ市中央1-1-8  
(Tel 0175-22-1351 Fax 0175-23-8609)
- 三八教育事務所  
〒039-1101 八戸市尻内町字鴨田7  
(Tel 0178-27-4521 Fax 0178-27-2847)
- 埋蔵文化財調査センター  
〒038-0042 青森市新城市天田内152-15  
(Tel 017-788-5701 Fax 017-788-5702)

## 教育機関等

- 図書館  
〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7  
(Tel 017-739-4211 Fax 017-739-8353)
- 碓珠少年自然の家  
〒037-0611 五所川原市神山字殊ノ峰117-602  
(Tel 0173-29-3303 Fax 0173-29-3306)
- 種差少年自然の家  
〒031-0841 八戸市鮫町字膳並平2-26  
(Tel 0178-38-2131 Fax 0178-38-2727)
- 総合社会教育センター  
〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7  
(Tel 017-739-1252 Fax 017-739-1279)  
「すこやかほっとライオン」(017-739-0101)
- 総合学校教育センター  
〒030-0123 青森市大矢沢字野田80-2  
(Tel 017-764-1997 Fax 017-728-6351)  
教育相談電話(017-728-5575)
- こころの教育相談センター  
〒030-0123 青森市大矢沢字野田80-2  
(Tel 017-728-5575 Fax 017-764-1989)
- 郷土館  
〒030-0802 青森市本町2-8-14  
(Tel 017-777-1585 Fax 017-777-1588)
- 三内丸山遺跡センター  
〒038-0031 青森市三内字丸山305  
(Tel 017-781-6078 Fax 017-781-6103)

## 県営体育施設

- 新総合運動公園  
マエダアリーナ  
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2  
(Tel 017-737-0600 Fax 017-726-3691)
- カヒコグループアスレチックスタジアム  
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2  
(Tel 017-752-0641 Fax 017-726-3691)
- スポーツ科学センター  
〒039-3505 青森市宮田字高瀬22-2  
(Tel 017-737-0607 Fax 017-737-0603)
- 総合運動公園  
〒038-0021 青森市安田字近野234-7  
(Tel 017-766-1241 Fax 017-766-1243)
- 盛運輸アリーナ  
〒030-0843 青森市浜田字豊田地内  
(Tel 017-739-9500 Fax 017-739-9507)
- 武道館  
〒036-8101 弘前市豊田2-3  
(弘前市運動公園内)  
(Tel 0172-26-2200 Fax 0172-26-2206)